

令和2(2020)年度

---

施策評価にかかる『成果指標』把握のための  
市民意向調査報告書

令和2(2020)年6月

栃木県真岡市

# 目 次

1	調査の概要	1
	(1) 調査の目的	
	(2) 調査対象地域	
	(3) 調査対象者	
	(4) 抽出方法	
	(5) 調査方法	
	(6) 調査期間	
	(7) 回収状況	
2	調査の結果	3
問 1	性別	3
問 2	年齢	3
問 3	居住地区	3
問 4	現在の真岡市のイメージ	4
問 5	真岡市が「どのようなまち」になったら良いか	5
問 6	今後のまちづくりで力を入れてほしい施策	6
問 7	住んでいる地域（町会）の生活環境について	7
	<b>【良好な市街地の形成について】</b>	
問 8	住んでいる区域	11
問 9	良好な市街地と感ずるか	11
	<b>【バリアフリーのまちづくりについて】</b>	
問 10	公共施設や民間施設の段差や階段などで不自由・不具合を感じるか	12
	<b>【公共交通について】</b>	
問 11	「いちごタクシー」、「いちごバス」の利用状況	13
問 12	「いちごタクシー」、「いちごバス」の利便性	13
	<b>【地域情報化について】</b>	
問 13	市政情報の入手方法	14
問 14	インターネットの利用	15
問 15	インターネットの利用端末	15
問 16	インターネットで利用している通信回線	15
	<b>【生涯学習について】</b>	
問 17	生涯学習への取り組み	16
問 18	取り組んでいる生涯学習の内容	16
問 19	取り組んでいる生涯学習の方法	17
問 20	生涯学習に取り組んだ動機	17
	<b>【図書館利用について】</b>	
問 21	図書館の利用状況	18
問 22	図書館を利用したことがない理由	18
	<b>【生涯スポーツ・レクリエーションについて】</b>	
問 23	現在行っている、また今後行いたいスポーツ・レクリエーション	19

<b>【文化財の保護と継承について】</b>	
問 2 4 文化財を大切にしたいと思うか	20
問 2 5 歴史や文化財への関心	20
<b>【文化芸術の振興について】</b>	
問 2 6 文化・芸術への興味、関心	21
問 2 7 文化芸術活動への参加	21
<b>【国際交流について】</b>	
問 2 8 外国人との交流	21
<b>【男女平等に関する意識について】</b>	
問 2 9 現在の男女の立場について	22
<b>【男女共同参画社会の実現について】</b>	
問 3 0 固定的な性別役割分担意識について	23
問 3 1 「ワーク・ライフ・バランス」という言葉について	23
問 3 2 DVによる相談機関について	24
<b>【結婚・家庭生活・子育て・介護について】</b>	
問 3 3 夫婦や家族の間での役割分担	24
<b>【市民主体の地域福祉について】</b>	
問 3 4 地域で取り組んでいる福祉活動	25
<b>【子育て支援について】</b>	
問 3 5 小学校 6 年生以下の子どもの有無	26
問 3 6 仕事と子育てを両立できていると感じるか	26
問 3 7 子育てへの不安感や負担感の有無	27
問 3 8 子育てへの不安感や負担感の内容	27
問 3 9 子育て支援センター・サロンや児童館の利用の有無	28
問 4 0 育て支援センター・サロンや児童館を利用しなかった理由	28
問 4 1 仕事と子育てを両立するために効果的な市からの支援	28
<b>【健康づくりの推進】</b>	
問 4 2 健康で元気に暮らしていると思うか	29
問 4 3 健康づくりのために取り組んでいること	29
問 4 4 健康づくりに関する言葉について	30
<b>【地域医療体制の充実】</b>	
問 4 5 地域で適切な医療が受けられていると思うか	30
問 4 6 かかりつけの医療機関の有無	30
<b>【救急救助と救急医療の充実について】</b>	
問 4 7 過去 1 年間の救急車や救急病院の利用の有無	31
問 4 8 救急車や救急病院の対応の満足度	31
<b>【水道事業について】</b>	
問 4 9 市の水道の利用の有無	32
問 5 0 水道水のおいしさ	32
問 5 1 水道水への不満の有無	32
問 5 2 水道水への不満の理由	33
問 5 3 水道水を利用しない理由	33
<b>【ごみの分別・減量化について】</b>	
問 5 4 家庭でのごみの分別と減量への取り組み	34
問 5 5 ごみの減量への取り組み方法	34

**【自然環境の保全と保護について】**

問 5 6	自然環境の保全活動への参加	35
問 5 7	環境保全に関するボランティアへの関心	35
問 5 8	家庭で地球温暖化対策に取り組んでいること	36
問 5 9	今後市が力を入れるべき環境対策	37

**【良好な環境づくりについて】**

問 6 0	真岡市をきれいなまちと感じるか	38
-------	-----------------	----

**【消防・防災対策について】**

問 6 1	災害に対して備えていること	39
-------	---------------	----

**【防犯対策について】**

問 6 2	犯罪に対する不安	39
問 6 3	犯罪に対する不安を感じる時	40

**【農業の振興（食育の推進）について】**

問 6 4	食育への関心	41
問 6 5	食品の安全性への不安	41
問 6 6	食事バランスガイドの内容の理解	41

**【勤労者福祉について】**

問 6 7	働いている場所	42
問 6 8	真岡市は働きやすい環境と感じるか	42

**【消費者の自立と保護について】**

問 6 9	消費生活や相談窓口の情報を十分に得られているか	43
-------	-------------------------	----

**【市民協働のまちづくりについて】**

問 7 0	地域での活動への参加状況	44
問 7 1	参加している活動の内容	44

**【開かれた市政について】**

問 7 2	市政に関する情報を得られていると感じるか	45
-------	----------------------	----

**【議会について】**

問 7 3	市議会だよりを読んでいるか	46
問 7 4	市議会だよりは読みやすいか	46

**【窓口サービスの向上と事務効率化について】**

問 7 5	過去 1 年間で市の役所の利用の有無	47
問 7 6	窓口の職員の対応や姿勢への満足度	47
問 7 7	過去 1 年間で市民課の利用の有無	47
問 7 8	市民課職員の対応や姿勢への満足度	48

**【その他】**

問 7 9	真岡市の市政（まちづくり）への満足度	49
-------	--------------------	----

## 1 調査の概要

### (1) 調査の目的

「第1次市勢発展長期計画」及び「増補版」に掲げる施策を、より効果的かつ計画的に推進するため、各施策の『成果指標（市民の皆さまの満足度等）』の把握を目的とした市民意向調査を実施するものである。

### (2) 調査対象地域

真岡市全域

### (3) 調査対象者

市内に在住する満18歳以上の男女

### (4) 抽出方法

無作為抽出

### (5) 調査方法

①調査票の配布は郵送により実施

②調査票の回収は以下の方法から回答者が選択

○調査票に直接回答記入し、返信用封筒で返送

○PCより調査票に記載したURLにアクセスし、回答フォームに回答

○QRコードにアクセス（スマートフォンまたは携帯電話）し、回答フォームに回答

### (6) 調査期間

令和2年4月～令和2年5月

### (7) 回収状況

◇配布数 : 3,000 票

◇有効回収数 : 1,363 票

◇有効回収率 : 45.4%

※グラフ・文中の標記について

- ◇グラフの基数は、特に標記のない限り総数（n=1,363）である。  
基数が総数と異なるときには、その都度グラフ上に表記している。
- ◇各設問において、次の略称を使用している。  
SA (Single Answer) : シングルアンサー（一つだけ選択回答）  
xLA (Limited Answer) : リミテッドアンサー（x 以内選択回答）  
MA (Multi Answer) : マルチアンサー（複数選択回答）
- ◇表やグラフの構成比は、項目ごとに小数点第2位を四捨五入することから、それらの合計が 100.0%にならないことがある。

※標本誤差について

- ◇この調査の標本誤差は、次式によって得られる。ただし、信頼度を 95%とする。

$$b = 1.96 \sqrt{\frac{(N-n)}{(N-1)} \times \frac{p(100-p)}{n}}$$

b=標本誤差  
N=母数集団  
n=基礎・サンプル(回答者数)  
p=回答比率  
1.96=信頼度95%の場合

標本誤差の早見表は下表のとおりである。表の見方は、例えばある質問の回答者数が 1,363 人で、回答比率が 50%であった場合、その回答比率の誤差は、最大で±2.63%以内となることを示している。

たとえば、本調査のある設問に対し「そう思う」と回答した人が 50%いた場合、真の値は 95%の確率で 47.4~52.6%の間にある、ということになる。

回答比率 基数 (n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,363人	±1.58	±2.10	±2.41	±2.57	±2.63
1,300人	±1.61	±2.15	±2.47	±2.64	±2.69
1,200人	±1.68	±2.24	±2.57	±2.75	±2.80
1,100人	±1.76	±2.34	±2.69	±2.87	±2.93
1,000人	±1.85	±2.46	±2.82	±3.01	±3.08

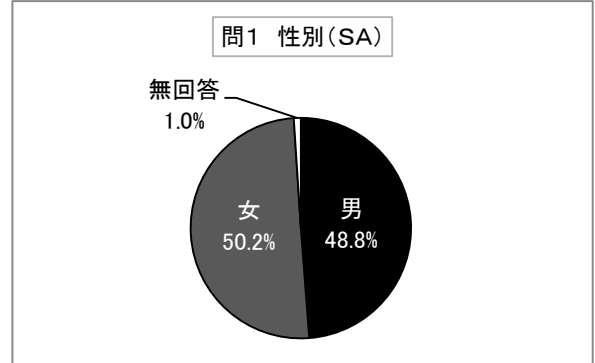
※令和元(2019)年10月1日現在における18歳以上の真岡市の人口65,862人を母集団として計算。(栃木県毎月人口調査より)

## 2 調査の結果

### 【回答者の属性】

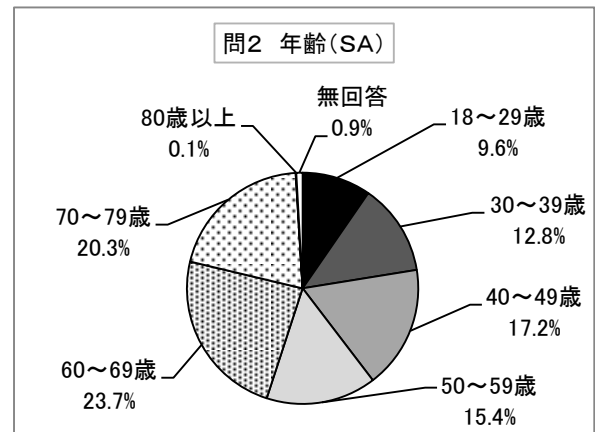
問1 あなたの性別は。

性別	今回調査数	構成比
男	665	48.8%
女	684	50.2%
無回答	14	1.0%
合計	1,363	100.0%



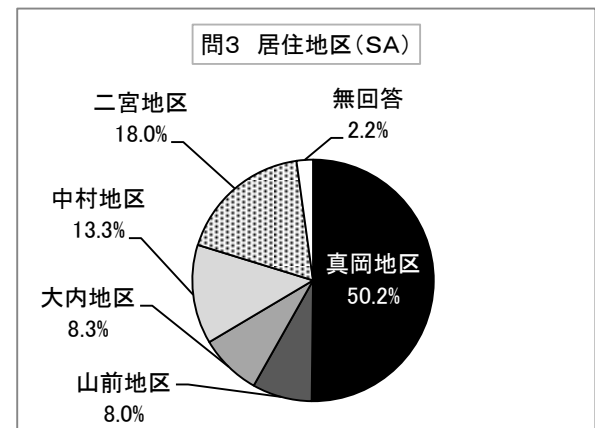
問2 あなたの年齢は。

年齢	今回調査数	構成比
18～29歳	131	9.6%
30～39歳	175	12.8%
40～49歳	234	17.2%
50～59歳	210	15.4%
60～69歳	323	23.7%
70～79歳	277	20.3%
80歳以上	1	0.1%
無回答	12	0.9%
合計	1,363	100.0%



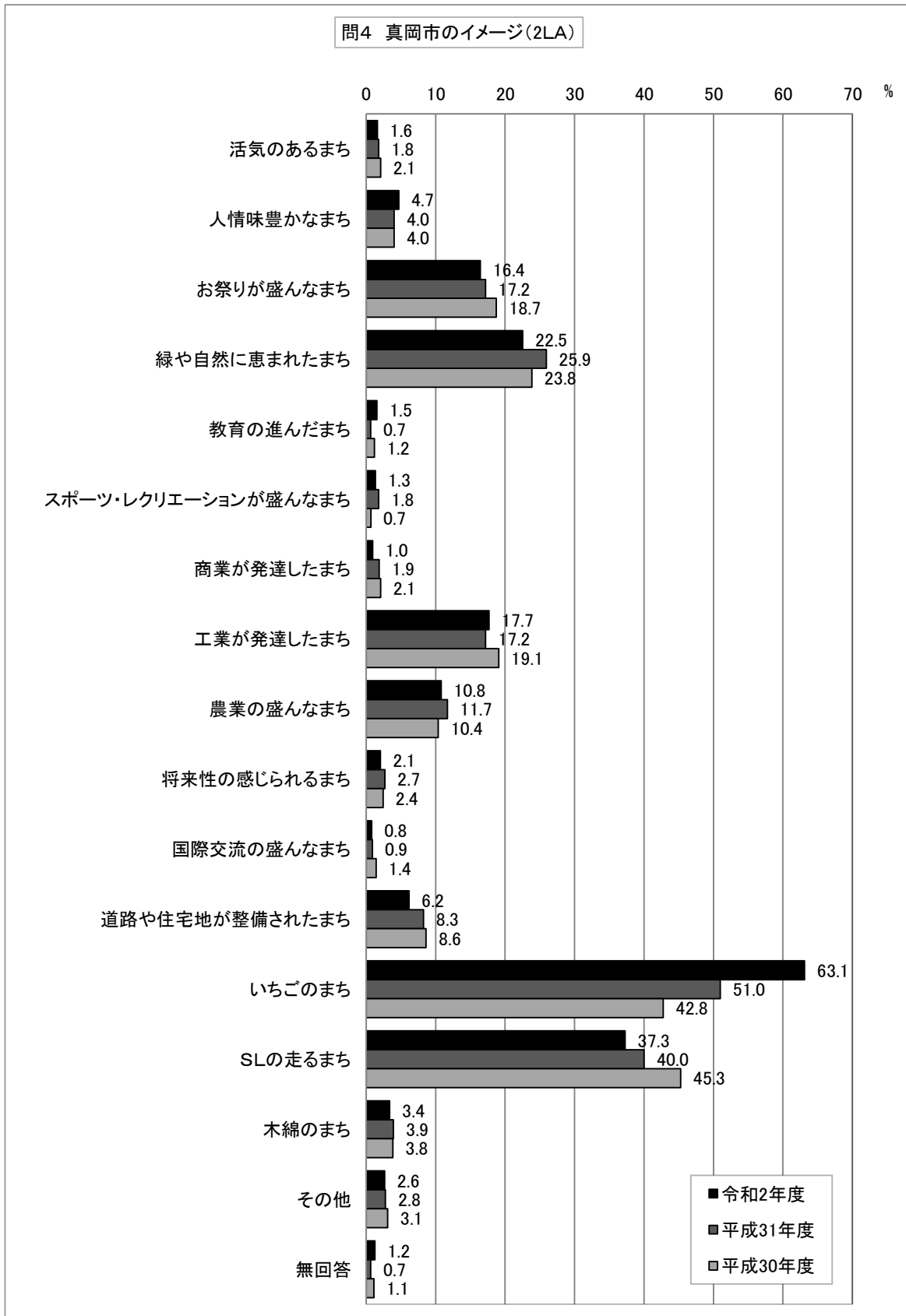
問3 あなたの住んでいる地区は。

居住地区	今回調査数	構成比
真岡地区	684	50.2%
山前地区	109	8.0%
大内地区	113	8.3%
中村地区	181	13.3%
二宮地区	246	18.0%
無回答	30	2.2%
合計	1,363	100.0%



問4 真岡市について、現在どのようなイメージをお持ちですか。  
次の中から2つまで選んでください。

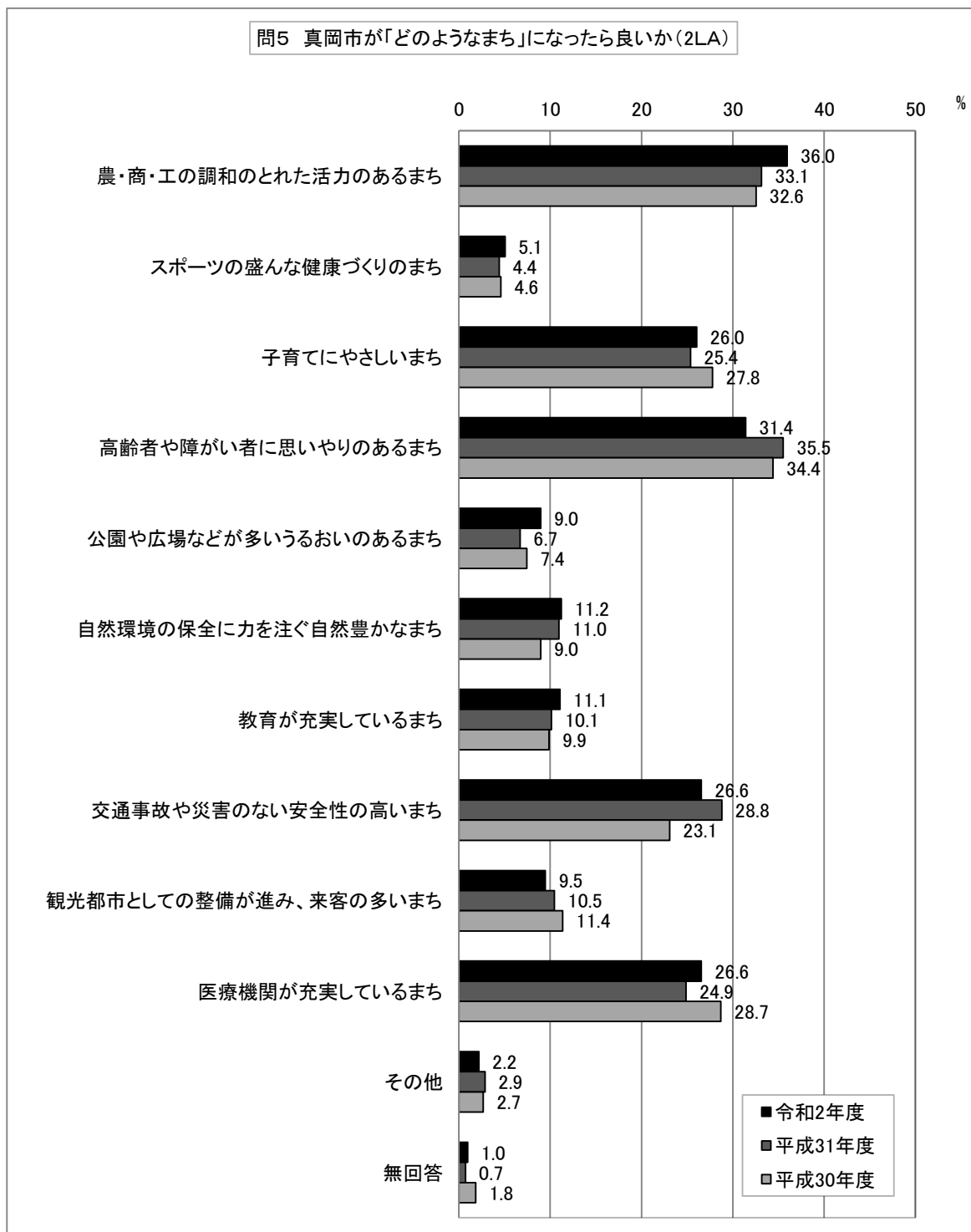
真岡市のイメージについては、「いちごのまち」が63.1%と最も高く、次いで「SLの走るまち」が37.3%であった。



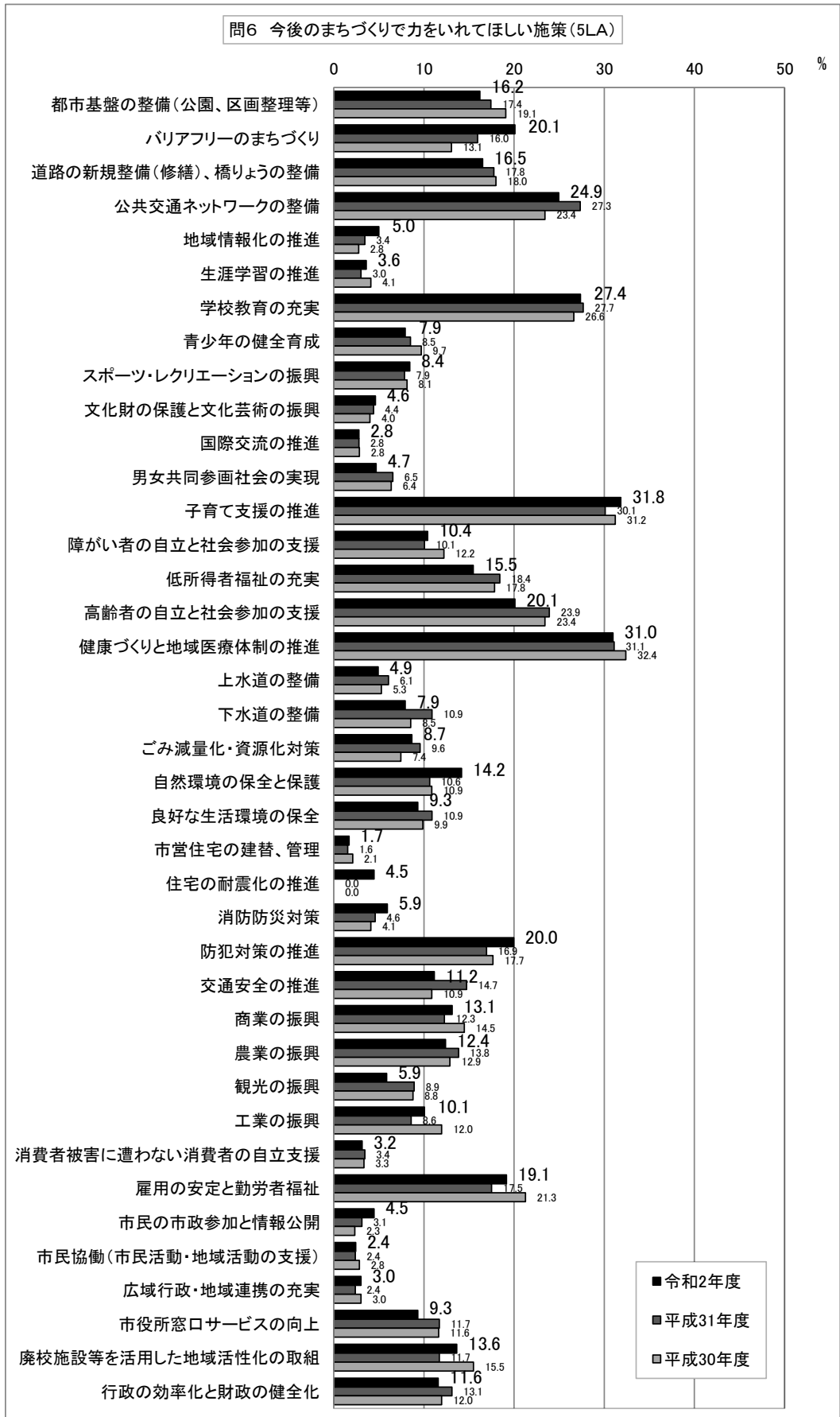


問5 あなたは、真岡市が「どのようなまち」になったら良いと思いますか。  
次の中から2つまで選んでください。

真岡市の将来像については、「農・商・工の調和のとれた活力のあるまち」が36.0%で最も高く、次いで「高齢者や障がい者に思いやりのあるまち」31.4%、「交通事故や災害のない安全性の高いまち」及び、「医療機関が充実しているまち」26.6%、「子育てにやさしいまち」26.0%が続いている。

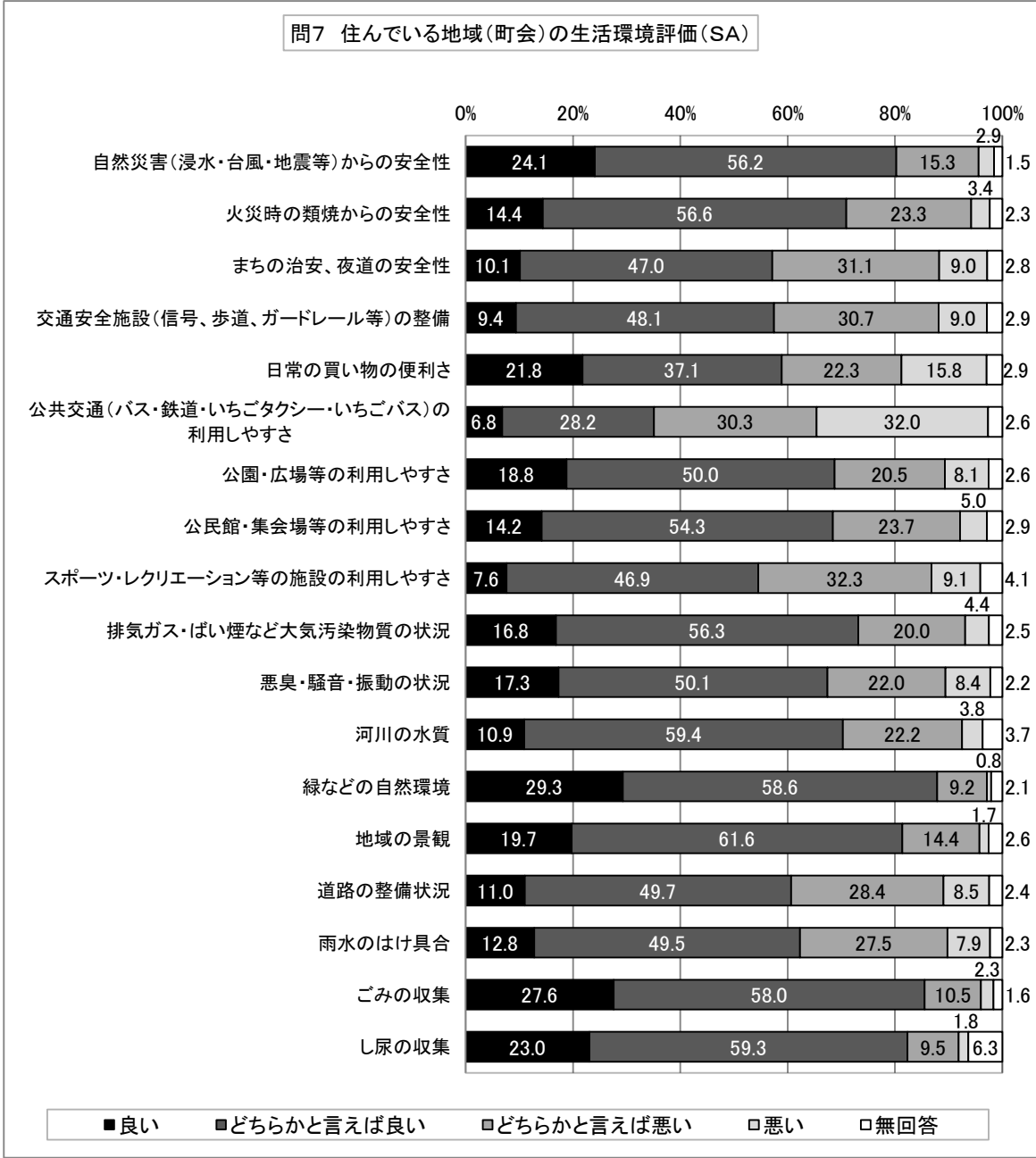


問6 今後のまちづくりについて、あなたが力を入れてほしい施策を5つまで選んでください。



※令和2年度、平成30年度に新設された回答項目につきましては、過去年度の割合は0%で表示しています。

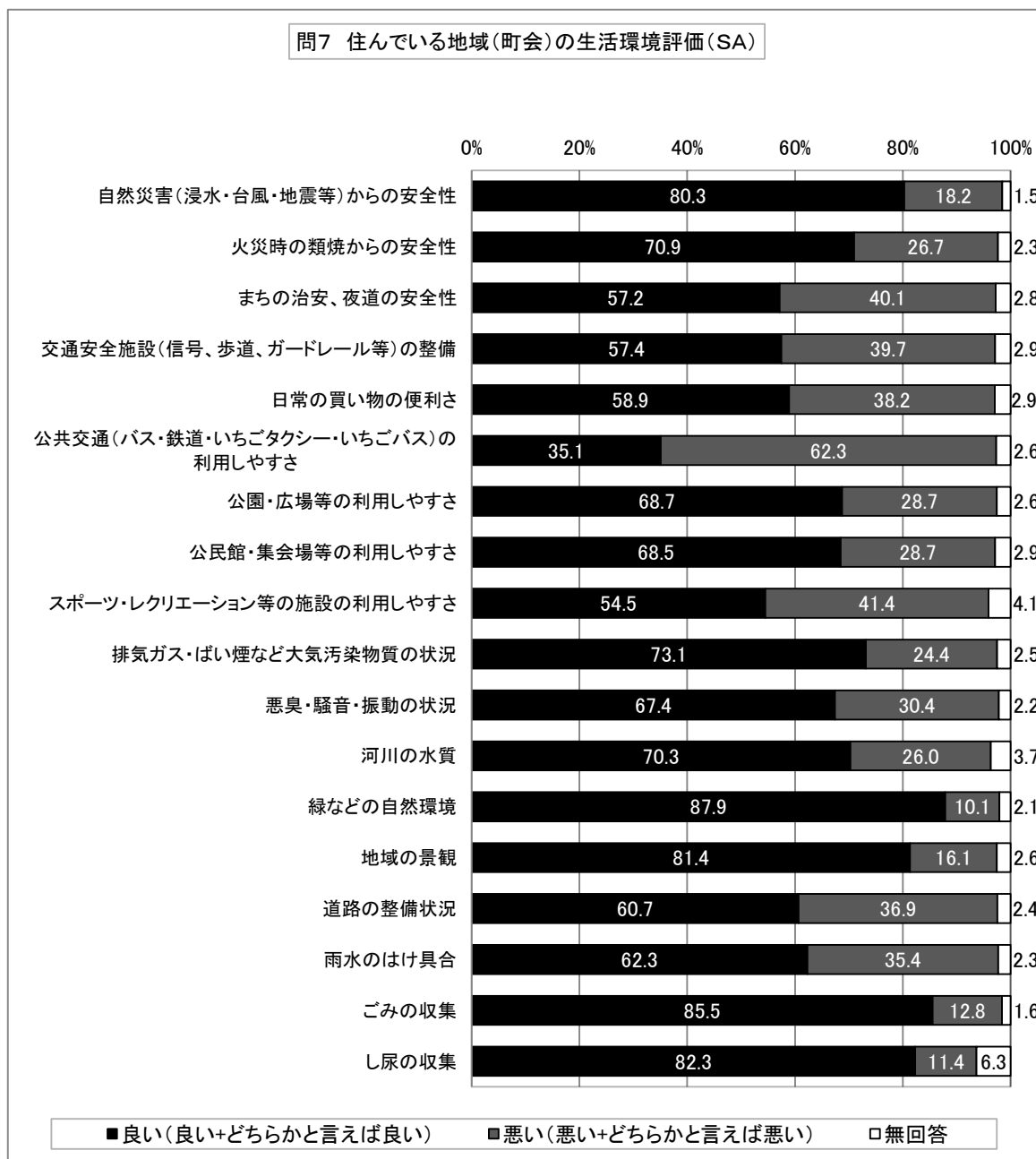
問7 あなたの住んでいる地域（町会）の生活環境について、どのように感じていますか。  
 それぞれの項目に対して、1から4の中で1つずつ選んでください。



住んでいる地域（町会）の生活環境について、18項目の内17項目が「良い」、「どちらかと言えば良い」を合わせると50%を超えている。最も評価が高い項目は「緑などの自然環境」で87.9%、次いで「ごみの収集」で85.5%、「し尿の収集」で82.3%の順番であった。

一方、「公共交通（バス・鉄道・いちごタクシー・いちごバス）の利用しやすさ」については、35.1%と特に満足度が低くなっている。

以下は、「良い」+「どちらかと言えば良い」、「どちらかと言えば悪い」+「悪い」の割合を示したグラフである。









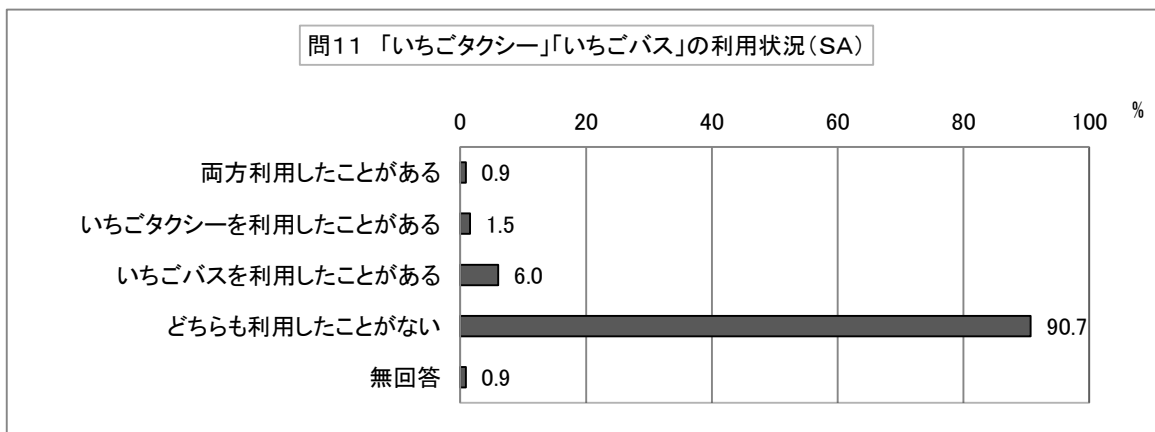




【公共交通について】

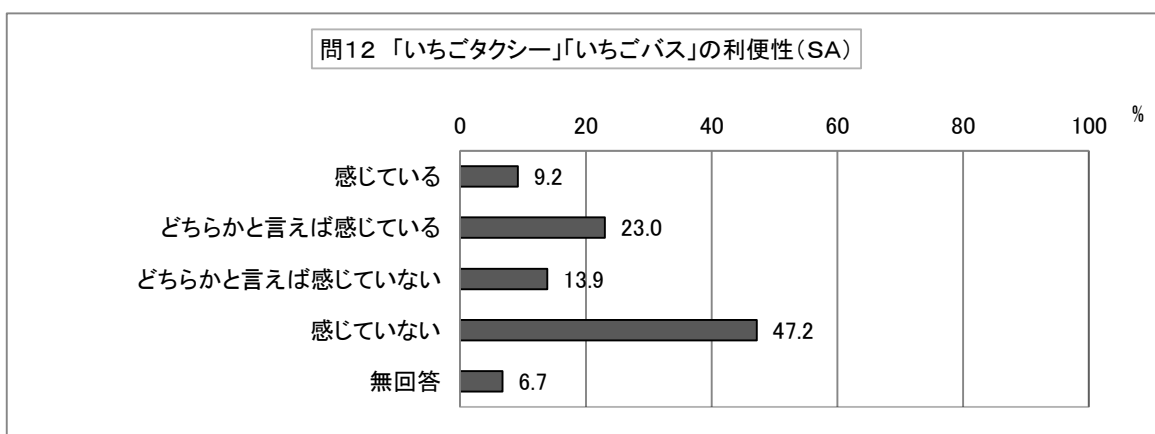
問 1 1 「いちごタクシー」または「いちごバス」を利用したことがありますか。

「いちごタクシー」または「いちごバス」の利用状況は、「利用したことがない」方が 90.7%と多数を占め、「利用したことがある」方は 8.4%であった。



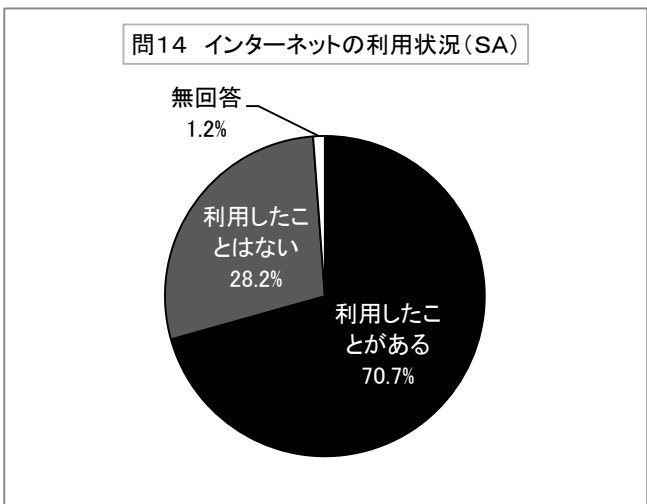
問 1 2 あなたは、「いちごタクシー」と「いちごバス」の運行により、市内の移動（通院や買い物など）が便利になったと感じていますか。

「いちごタクシー」または「いちごバス」の運行により、市内の移動（通院や買い物など）が便利になったと感じている方は、32.2%であった。一方、便利と感じていない方は 60%を超えている。





問14 あなたは過去1年間にインターネットを利用したことがありますか。

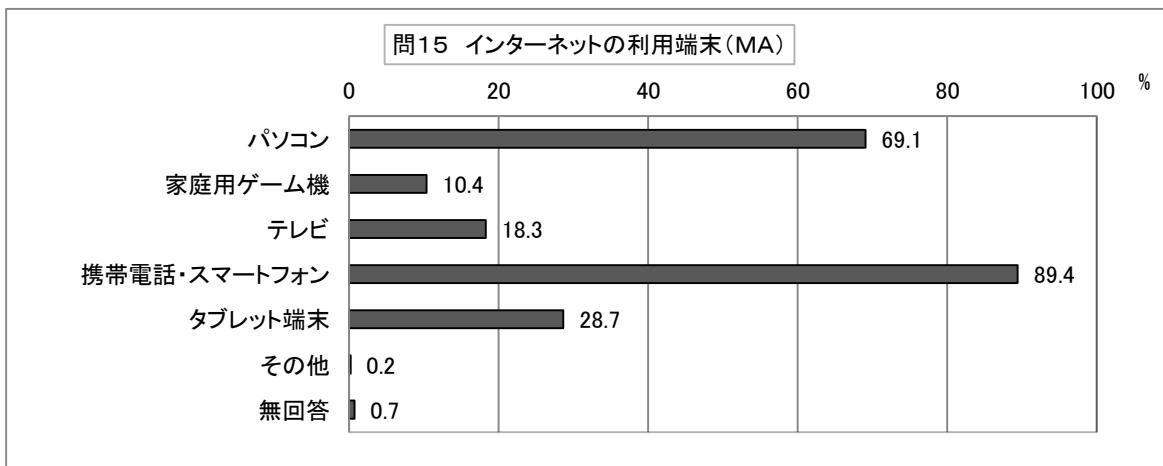


インターネット利用については、70.7%の方が利用している。

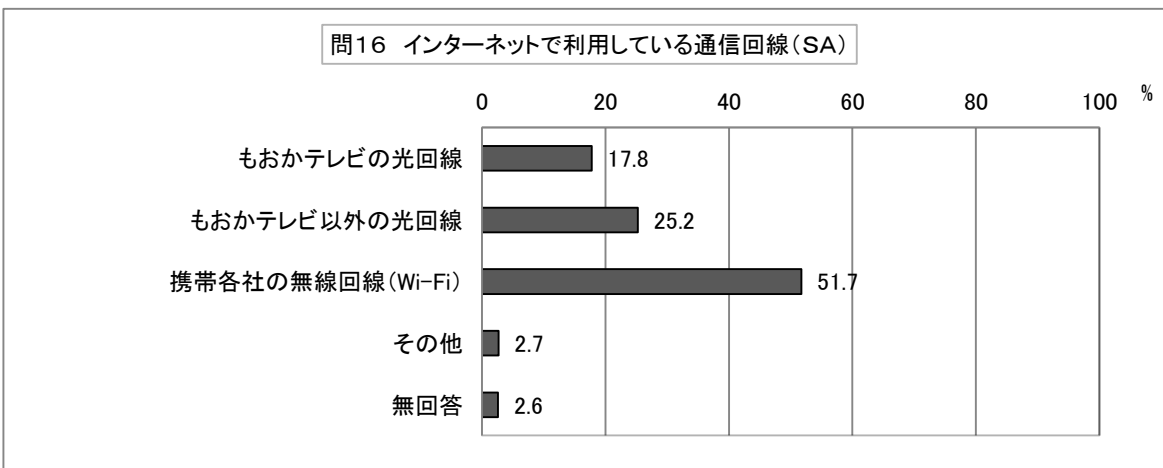
年代別では、40歳未満は各年代とも90%以上が利用している。次いで50歳代が83.8%、60歳代が59.4%であった。一方、高年齢層では利用率が低く、70歳が27.8%、80歳代においては0%であった。

地域別では、真岡地区が最も高く75.6%であった。

問15 問14で「1. 利用したことがある」と答えた方にお聞きします。あなたが利用したことがある端末は何ですか。



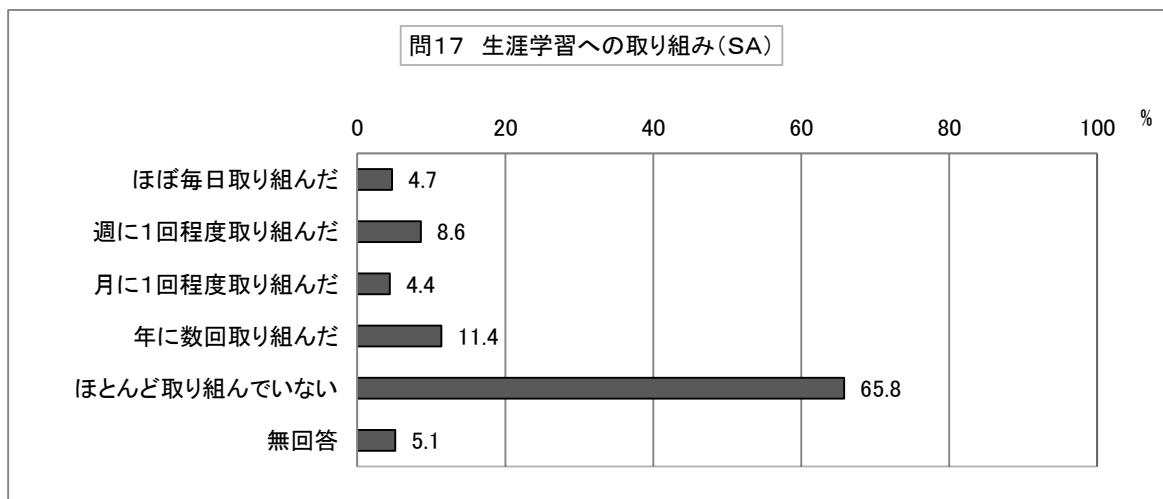
問16 問14で「1. 利用したことがある」と答えた方にお聞きします。あなたが自宅で主に利用している通信回線は何ですか。



## 【生涯学習について】

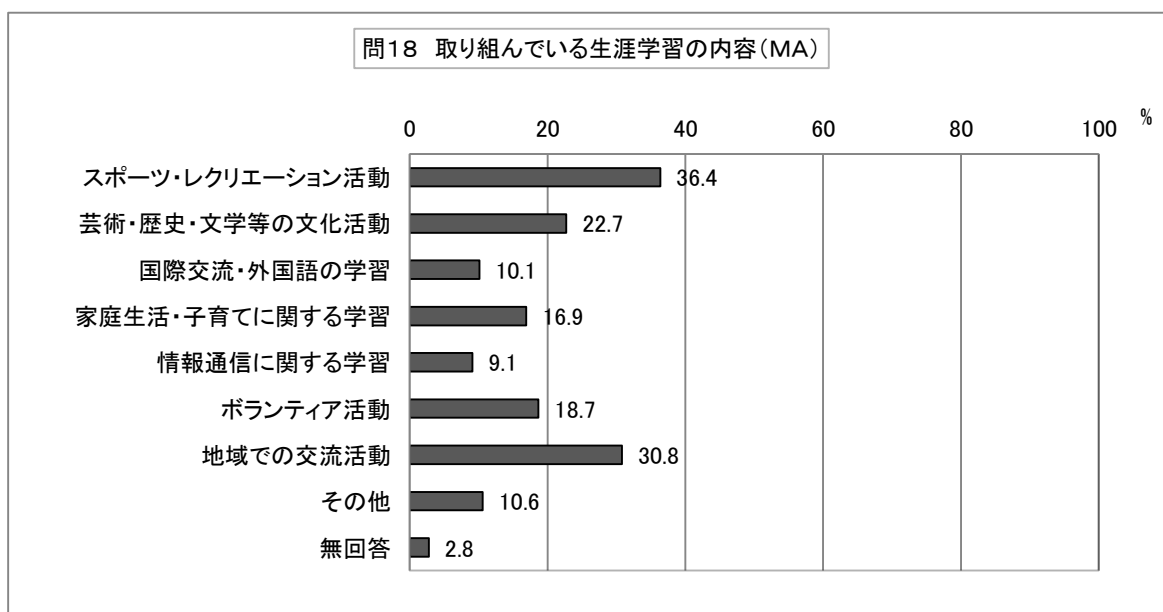
問17 あなたは過去1年間に、学習活動（問18参照）に取り組みましたか。  
次の中から1つ選んでください。

生涯学習の取り組みについては、定期的に「取り組んでいる」方は29.1%であった。  
年齢別では、18から29歳が最も高く35.1%、次いで30から39歳の33.1%であった。



問18 問17で「取り組んでいる」と答えた方にお聞きします。学習活動の内容は何ですか。

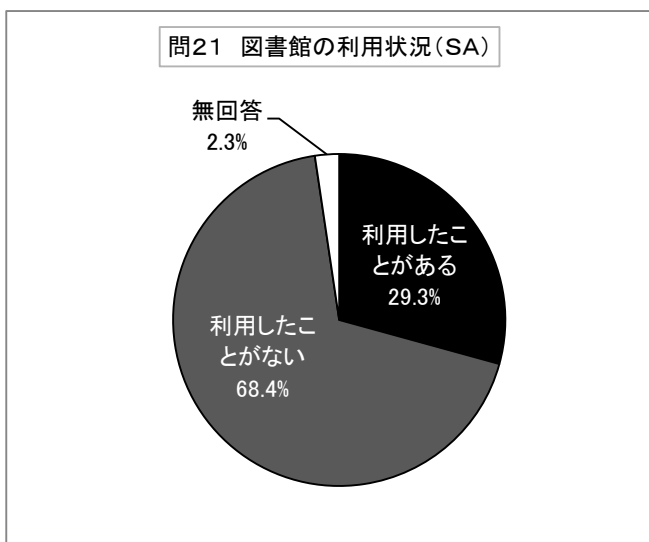
学習活動の内容については、「スポーツ・レクリエーション活動」が最も高く36.4%、次いで「地域での交流活動」が30.8%、「芸術・歴史・文学等の文化活動」が22.7%であった。





【図書館利用について】

問 2 1 あなたは、過去 1 年間に図書館（二宮図書館・西分館の図書室を含む）を利用したことがありますか。



図書館の利用状況は、「利用したことがある」と回答した方は 29.3%であった。

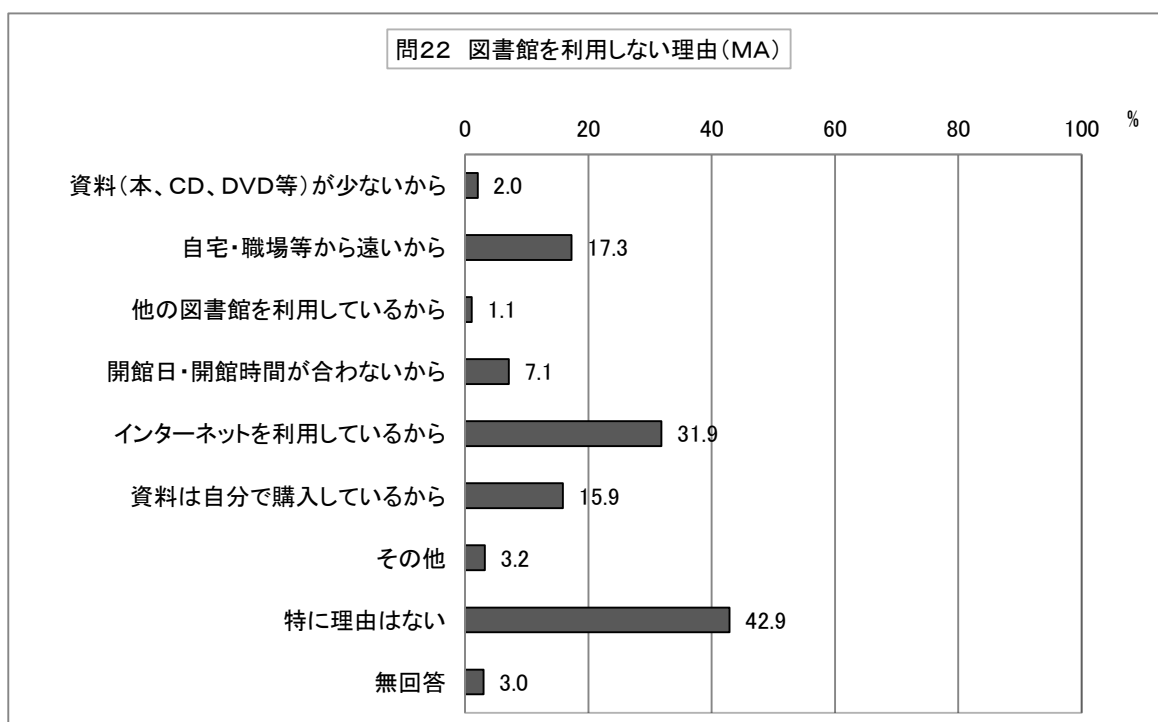
年齢別では、30歳代が 46.3%で最も高く、次いで40歳代 34.2%、18～29歳の 27.5%であった。

地区別では、真岡地区が 32.2%で最も高く、次いで大内地区 29.2%、中村地区 26.5%、二宮地区 26.4%、山前地区 23.9%の順であった。

問 2 2 問 2 1 で「2. 利用したことがない」と答えた方にお聞きします。利用したことがない理由は何ですか。

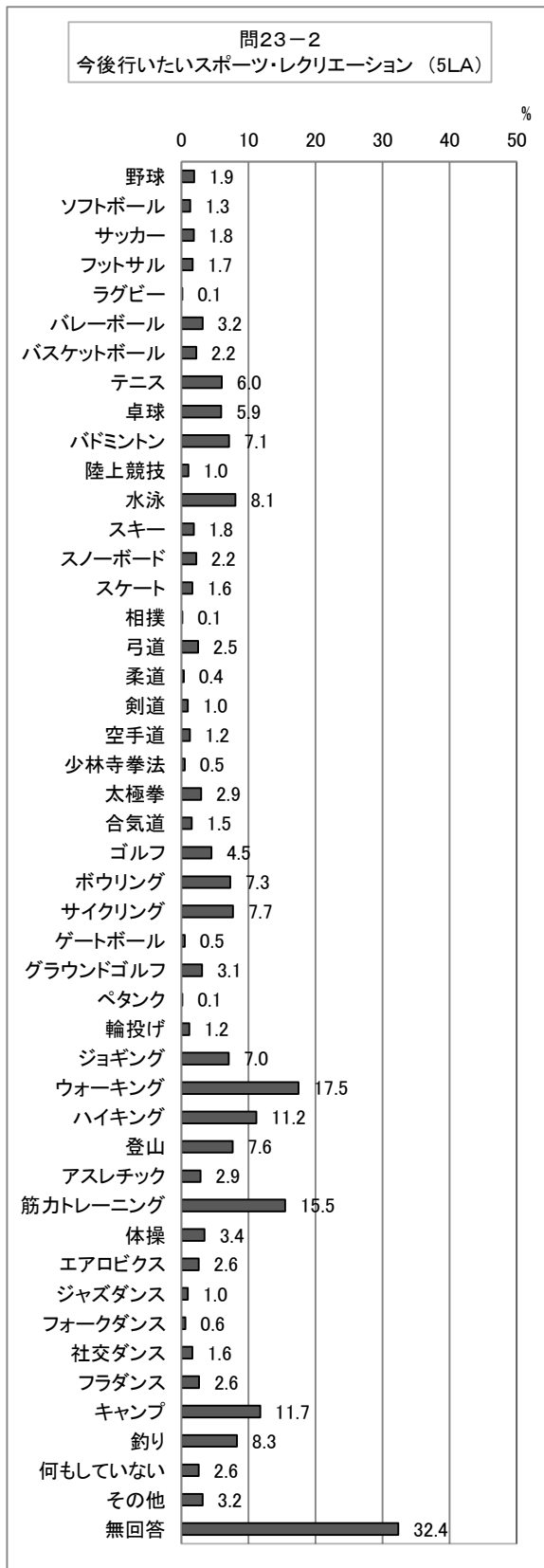
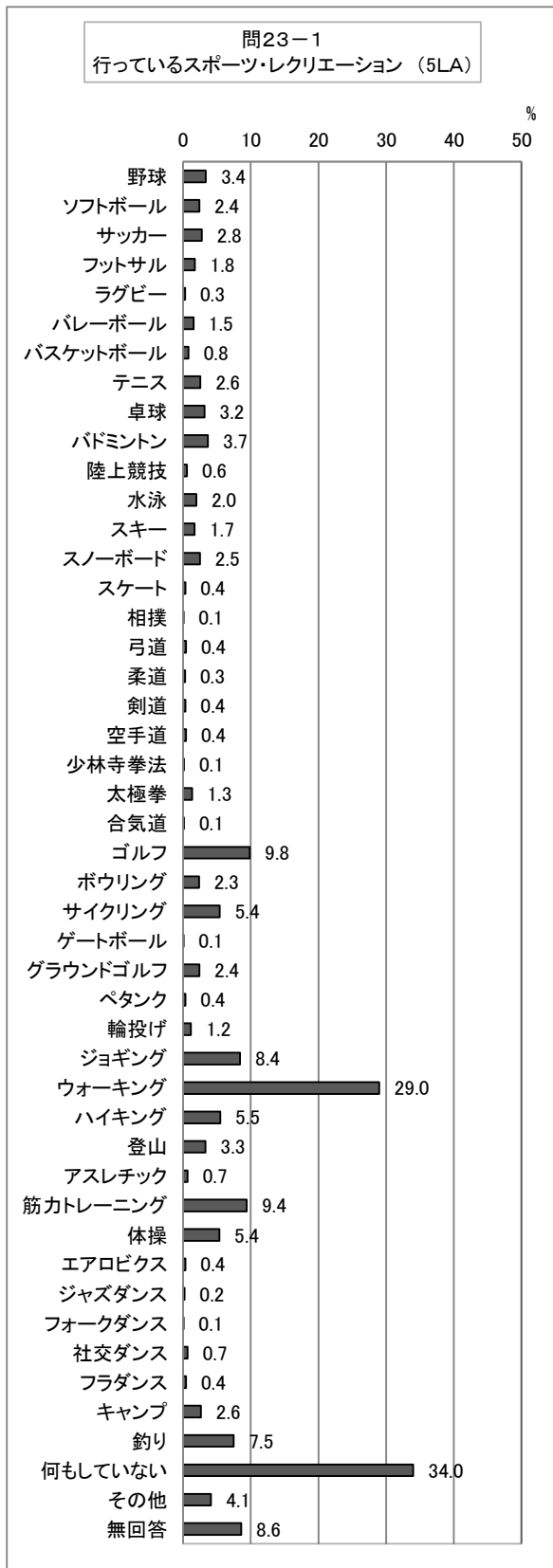
図書館を利用しない理由については、「インターネットを利用しているから」が 31.9%、次いで「自宅・職場等から遠いから」が 17.3%であった。

年齢別では、59歳以下は、「インターネットを利用しているから」が 40%以上と最も高く、70歳代は「自宅・職場等から遠いから」の割合が高くなる傾向がある。



【生涯スポーツ・レクリエーションについて】

問23 あなたは、日ごろどのようなスポーツ・レクリエーションをやっていますか。  
 また、今後どのようなスポーツ・レクリエーションをやりたいと思いますか。  
 次の中からそれぞれ5つまで選んで、回答欄に番号を記入してください。



スポーツ・レクリエーションについては、「日ごろ行っている」では「ウォーキング」が29.0%で最も高く、「ゴルフ」9.8%、「筋力トレーニング」の9.4%の順であった。

「今後行いたい」では、「ウォーキング」が17.5%で最も高く、次いで「筋力トレーニング」が15.5%、「キャンプ」が11.7%であった。

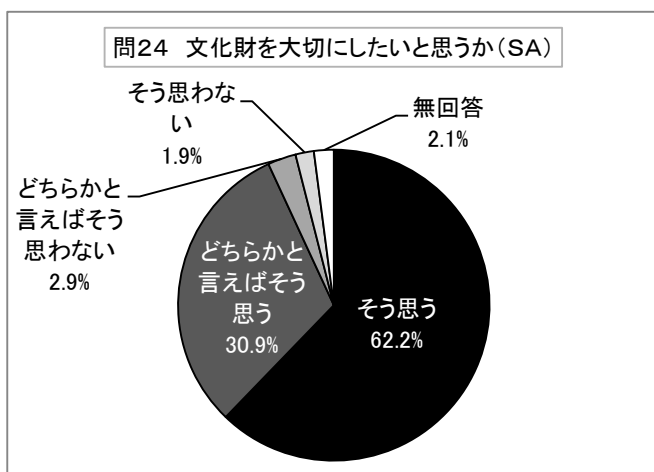
◆◆◆ 施策2-4 生涯スポーツ・レクリエーションの振興 ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇  
 【成果指標】『何らかのスポーツ・レクリエーションを行っている市民の割合』※ (％)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
行っている	47.3	60.7	59.3	58.5	55.5	57.4
前年度比	-1.6	13.4	-1.4	-0.8	-3.0	1.9

※100%から「何もしていない」と「無回答」の割合を差し引いたもの

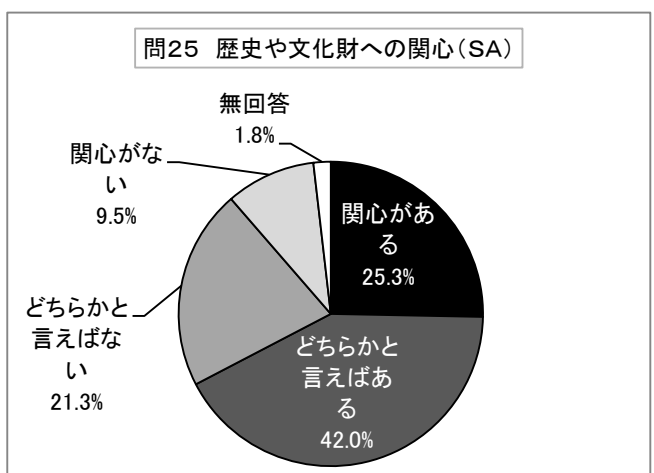
【文化財の保護と継承について】

問24 あなたは、真岡市の文化財を大切にしたいと思いますか。



真岡市の文化財を大切にしたいと思うかという質問では、「そう思う」、「どちらかと言えばそう思う」を合わせると93.1%であり、年代にかかわらず、高い割合である。

問25 あなたは、歴史や文化財に関心がありますか。



歴史や文化財への関心については、「関心がある」、「どちらかと言えば関心がある」を合わせると67.3%であった。

年齢別では、「関心がある」、「どちらかと言えば関心がある」を合わせると70歳代が75.9%で最も高く、次いで50歳代の70.5%であった。



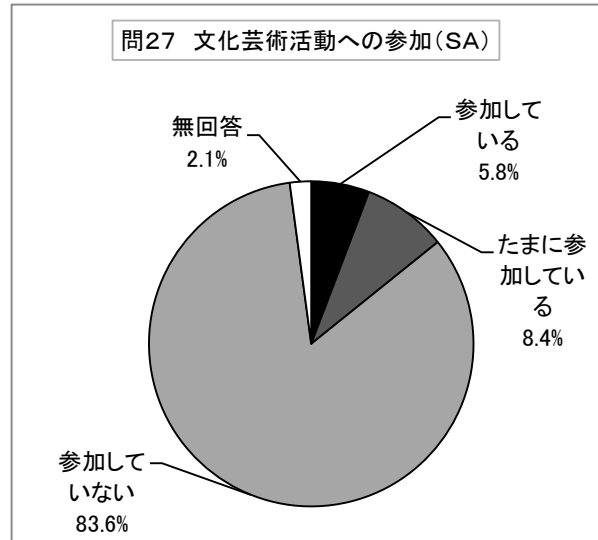
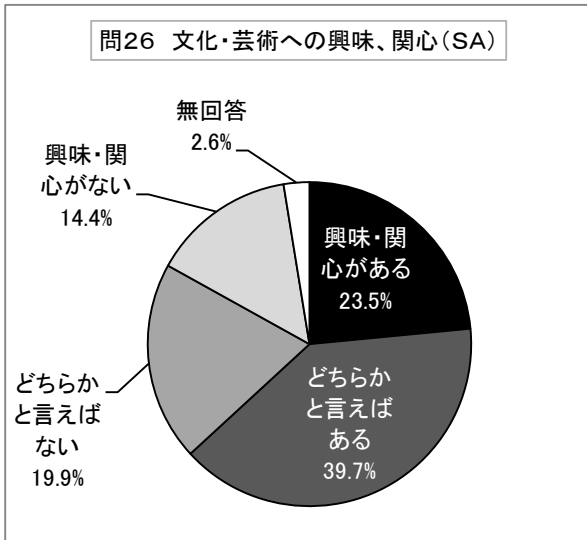
【文化芸術の振興について】

問26 あなたは、文化・芸術に興味、関心がありますか。

問27 あなたは、文化芸術活動に参加していますか。

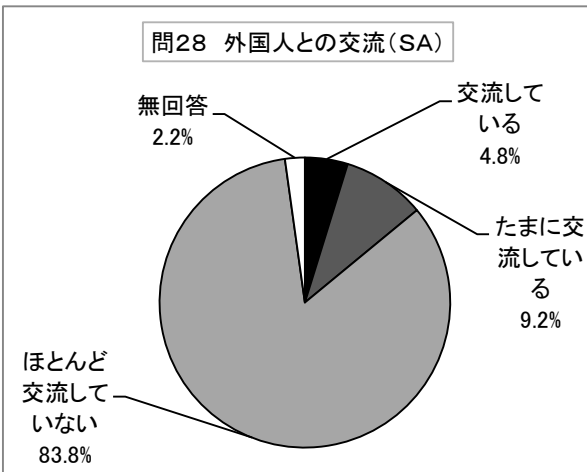
文化・芸術への興味、関心については、「関心がある」、「どちらかと言えば関心がある」を合わせると63.2%であった。

文化芸術活動への参加については、「参加している」、「たまに参加している」を合わせると14.2%の方が参加している。



【国際交流について】

問28 あなたは、市内に住んでいる外国人や、外国に住んでいる人と交流していますか。



市内に住んでいる外国人等との交流については、「交流している」、「たまに交流している」を合わせると14.0%の方が交流している。

年代別では、40歳代が最も多く、18.8%の方が交流している。

◆◆◆ 施策2-7 国際交流の推進 ◇◇◇◇

〔成果指標〕

『国際交流を日ごろから行っている市民の割合』  
(%)

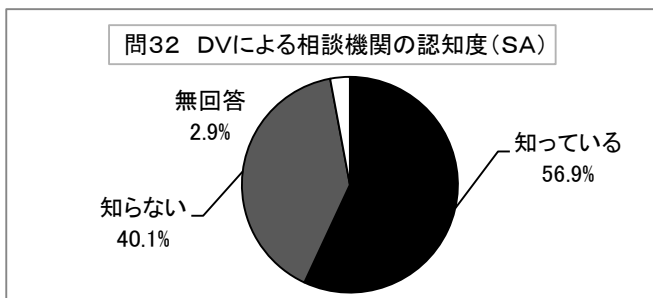
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
交流している	5.4	4.3	4.6	4.0	4.3	4.8
たまに交流している	8.4	10.9	9.5	10.9	9.7	9.2
合計	13.8	15.2	14.1	14.9	14.0	14.0
前年度比	1.4	1.4	-1.1	0.8	-0.9	0





問32 男女共同参画社会の実現には、あらゆる暴力の根絶に向けた啓発が必要です。  
もし、あなたが配偶者等から暴力（DV\*）を受けたときに、相談できる機関があるのを知っていますか。

※配偶者や恋人、親子など親しい関係の人から加えられる暴力。Domestic Violence の略。



（DV\*）を受けたときに、相談できる機関があるのを知っている割合は56.9%であった。

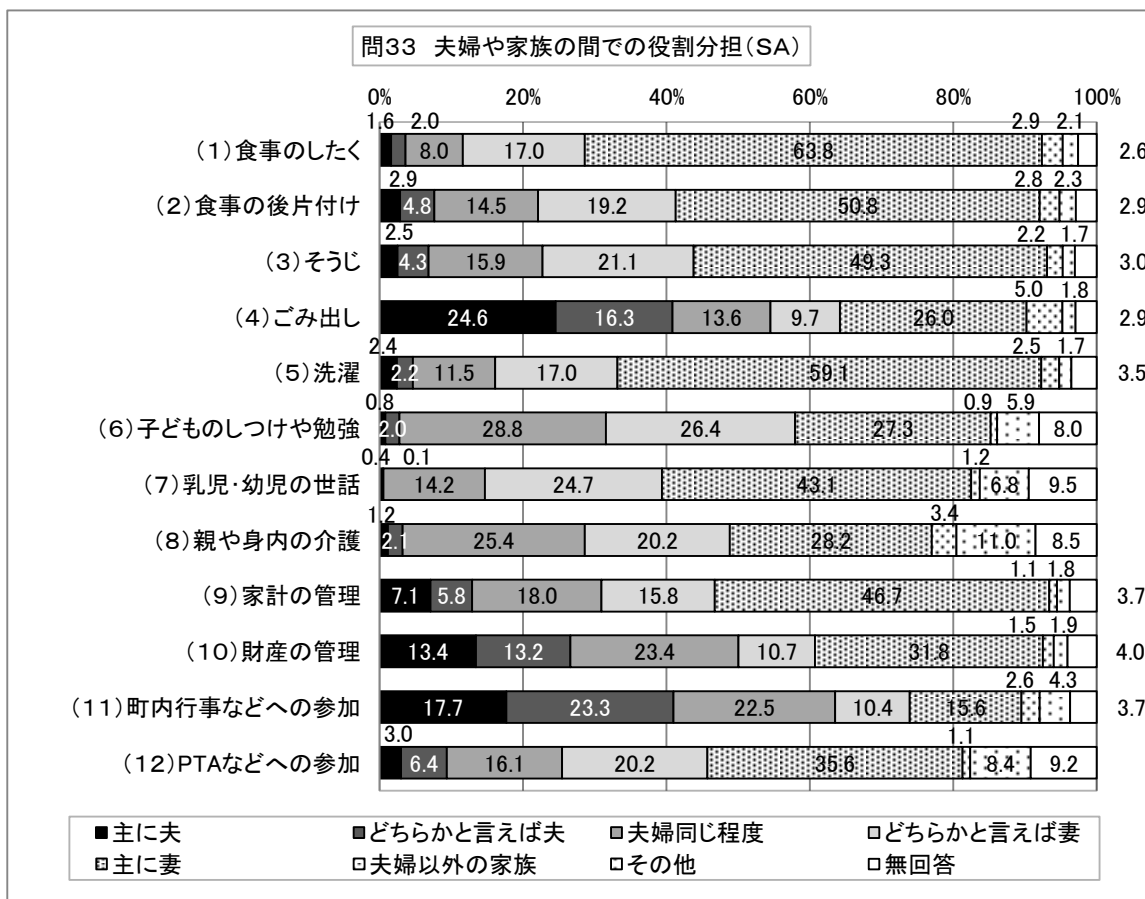
性別では、男性54.7%、女性59.2%であり、年代別では、50歳代が63.3%と最も高い割合であった。

【結婚・家庭生活・子育て・介護について】

問33 あなたは、次の(1)～(12)について、夫婦や家族の間でどのように分担していますか。あてはまるものを1から7の中で1つずつ選んでください。

夫婦や家族間での役割分担については、「食事のしたく」、「食事の後片付け」、「そうじ」、「洗濯」、「子どものしつけや勉強」、「乳児・幼児の世話」、「家計の管理」、「PTA などへの参加」など、8項目で「主に妻」又は「どちらかと言えば妻」が50%以上であり、その割合は53.7%から80.8%であった。

一方、「ごみ出し」、「町内行事などへの参加」の2項目においては、「主に夫」又は「どちらかと言えば夫」であり、その割合は40.9%から41.0%であった。

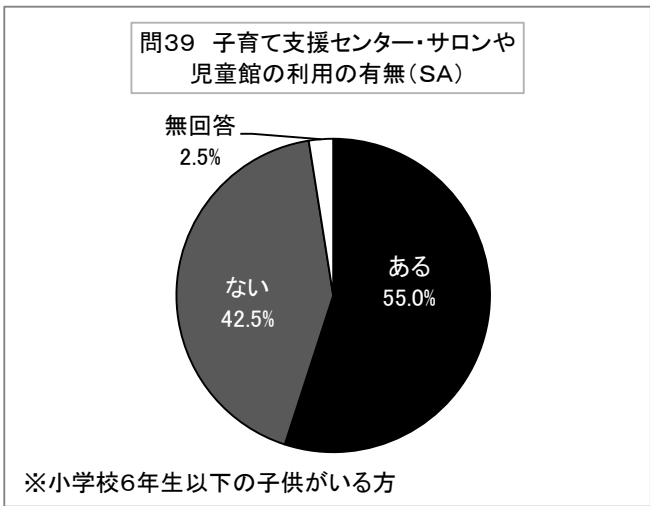






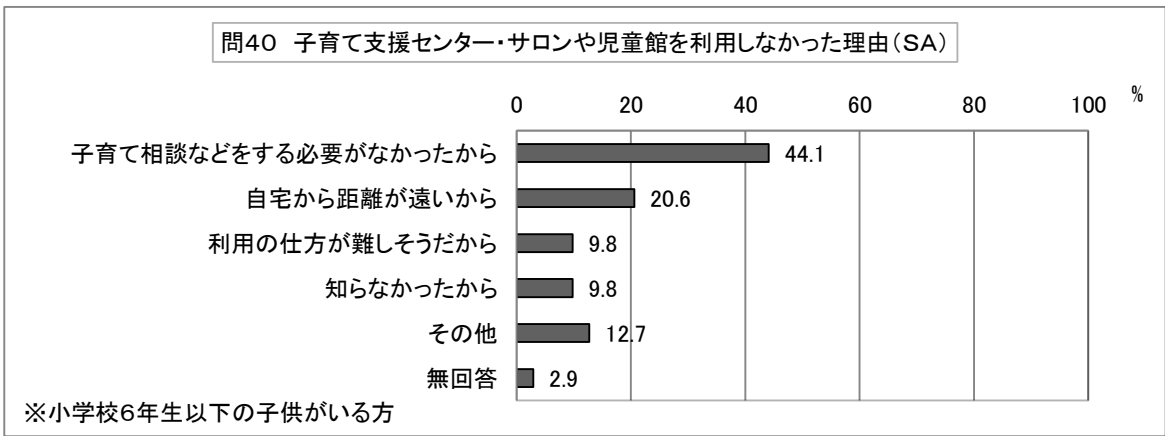


問39 子育て支援センター・サロンや児童館を利用したことがありますか。

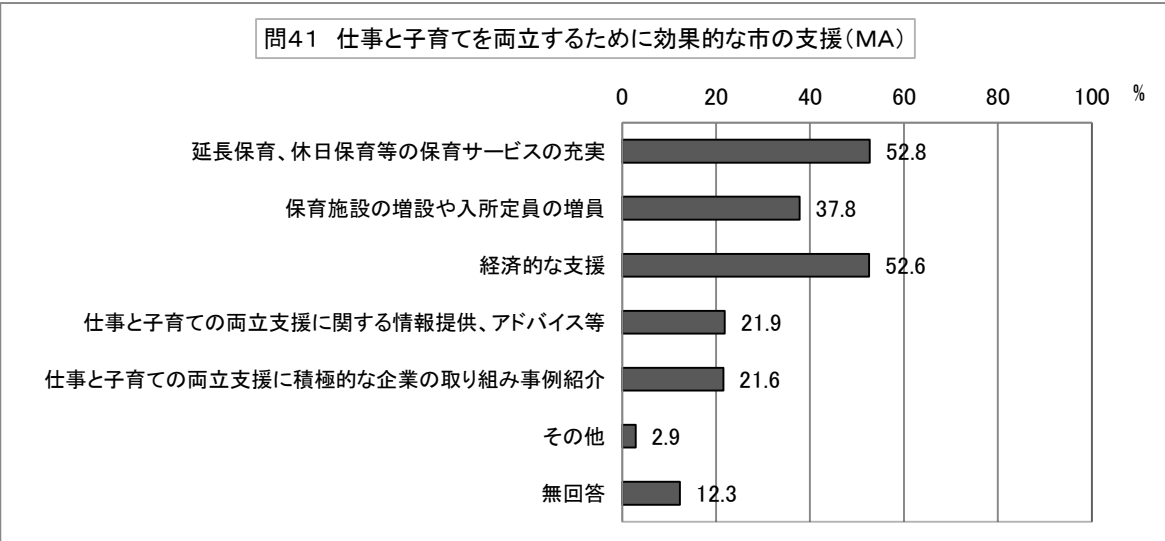


子育て支援センター・サロンや児童館を利用については、小学校6年生以下の子供がいる方で、「ある」55.0%、「ない」42.5%であった。

問40 問39で「2. ない」と答えた方にお聞きします。利用しなかった理由を、次の中から1つ選んでください。



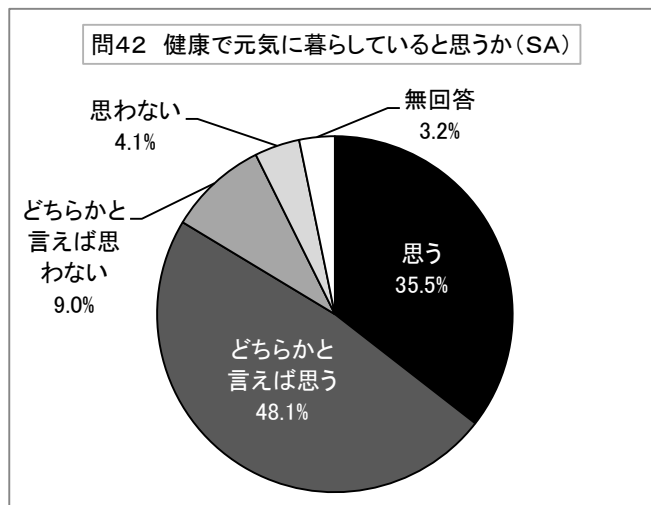
問41 仕事と子育てを両立するために、市からどのような支援があれば効果的だと思いますか。





## 【健康づくりの推進】

問42 あなたは、健康で元気に暮らしていると思いますか。

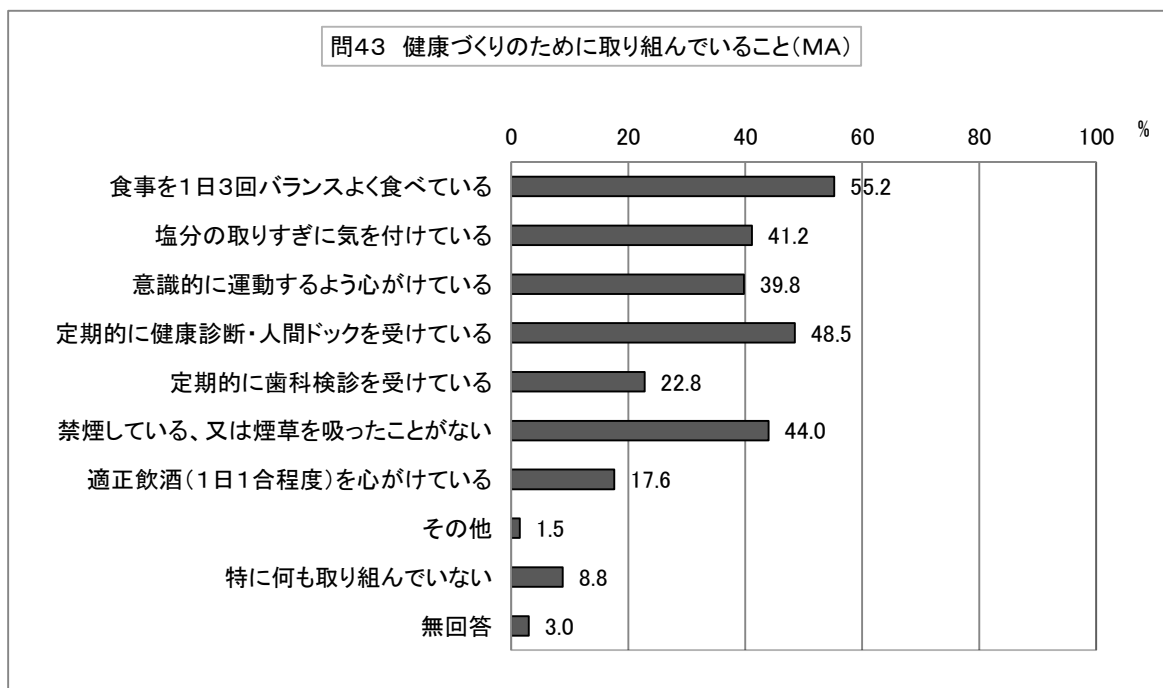


健康で元気に暮らしているについては、「思う」「どちらかと言えば思う」を合わせた割合は83.6%であった。

問43 あなたは、健康づくりのためにどのようなことに取り組んでいますか。

健康づくりのための取り組みについては、「食事を1日3回バランスよく食べている」が55.2%で最も高く、次いで「定期的に健康診断・人間ドックを受けている」が48.5%、「禁煙している、又は煙草を吸ったことがない」が44.0%であった。

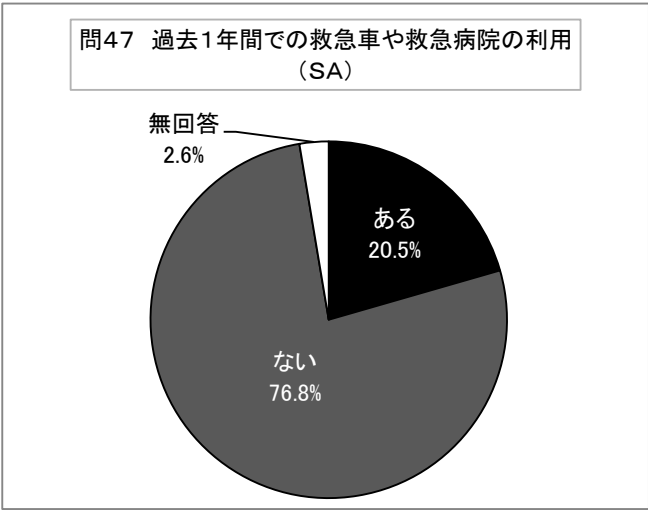
年代別では、「禁煙している、又は煙草を吸ったことがない」が年代にかかわらず41%以上と高い割合であった。





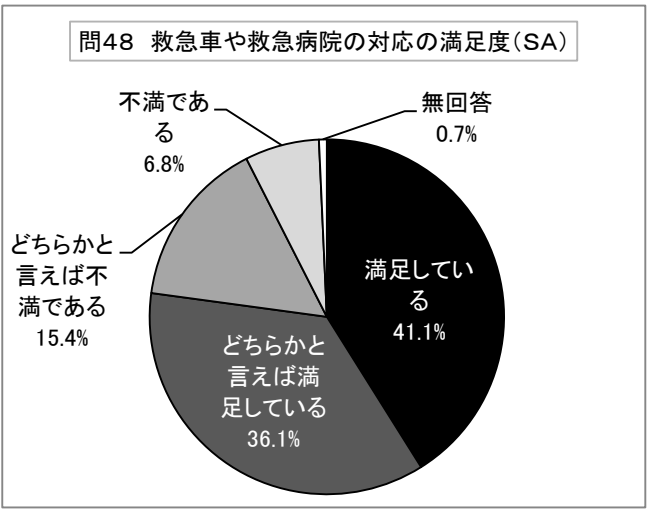
【救急救助と救急医療の充実について】

問47 あなたやあなたの家族で、過去1年間に、市内で救急車や救急病院を利用したことはありますか。



過去1年間の救急車や救急病院の利用については、「ある」20.5%、「ない」76.8%であった。

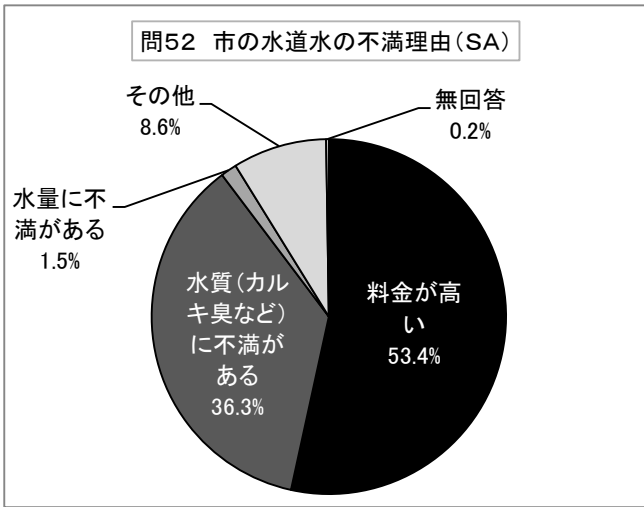
問48 問47で「1. ある」と答えた方にお聞きします。救急車や救急病院の対応に満足しましたか。



救急車や救急病院の対応については、「満足している」「どちらかと言えば満足している」を合わせると77.2%であった。



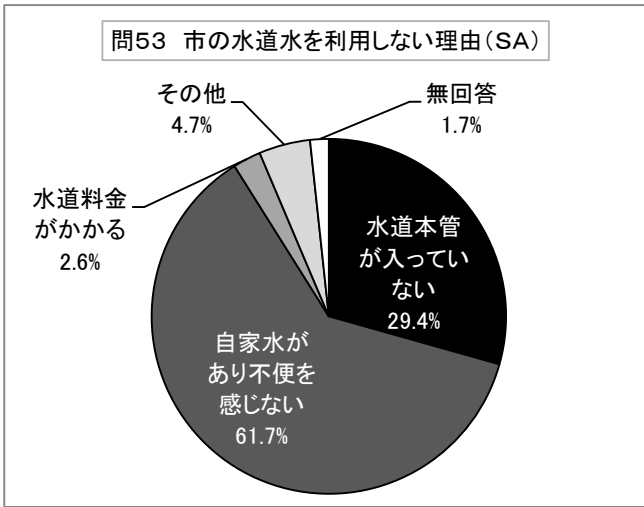
問52 問51で「1. 不満がある」と答えた方にお聞きします。  
理由を次の中から1つ選んでください。



水道水の不満の理由については、「料金が高い」が53.4%で最も高く、次いで「水質（カルキ臭など）に不満がある」が36.3%、「水量に不満がある」1.5%であった。

地区別では、真岡地区、山前地区、二宮地区で「料金が高い」が51%以上を占めている。大内地区では「水質（カルキ臭など）に不満がある」が59.1%であった。

問53 問49で「2. 利用していない」と答えた方にお聞きします。どうして市の水道水を利用していないのですか。次の中から1つ選んでください。



水道水を利用しない理由については、「自家水があり不便を感じない」が61.7%で最も高く、次いで「水道本管が入っていない」が29.4%、「水道料金がかかる」2.6%であった。

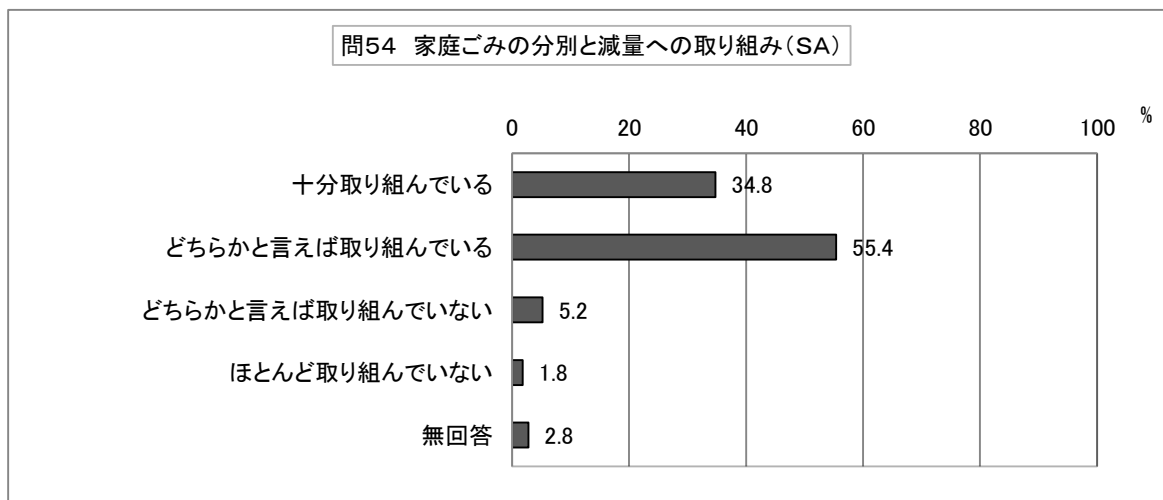
地区別では、二宮地区で「水道本管が入っていない」が43.2%であり、他の地区よりも割合が高い。また、大内地区、中村地区では「自家水があり不便を感じない」が82%以上と高い割合であった。

## 【ごみの分別・減量化について】

問54 あなたは、家庭でごみの分別と減量に取り組んでいますか。

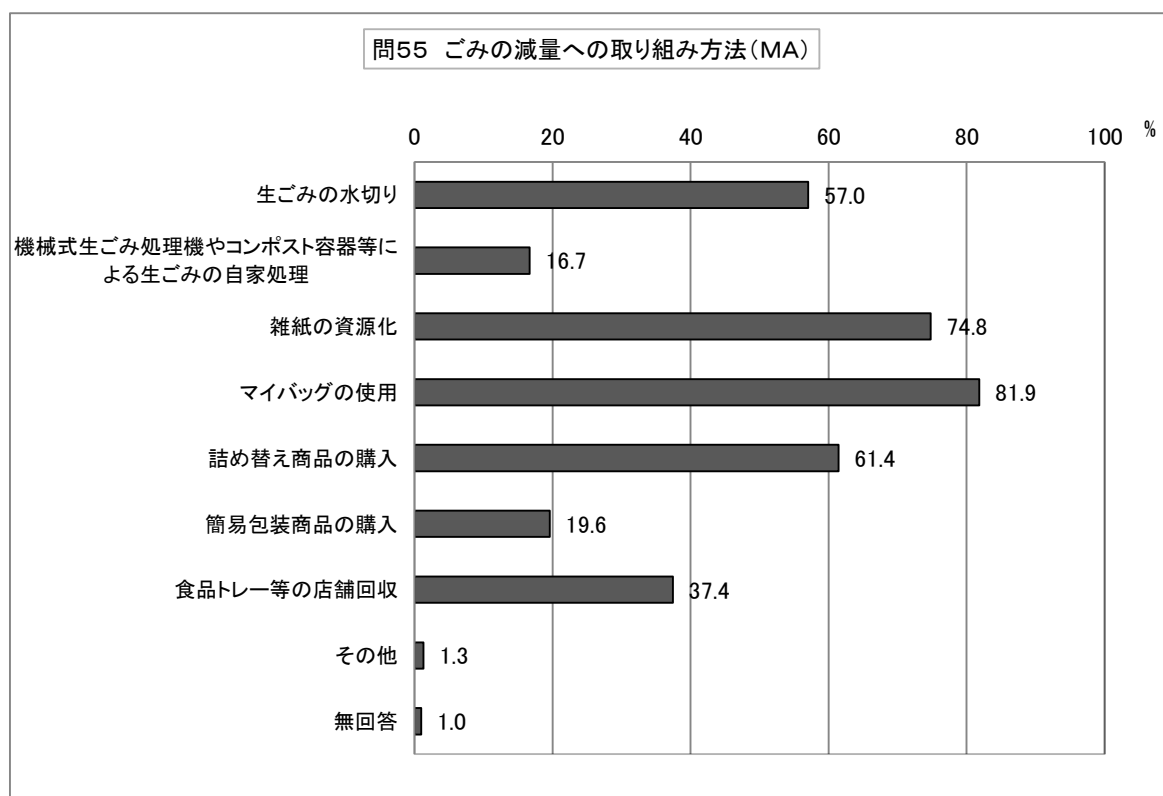
ごみの分別と減量化については、「十分取り組んでいる」、「どちらかと言えば取り組んでいる」を合わせると、90.2%であり、多数の方が取り組んでいる。

取り組み状況は、各年代を通して高い割合であり、81%以上であった。



問55 問54で「1.十分取り組んでいる」又は「2.どちらかと言えば取り組んでいる」と答えた方にお聞きします。あなたは家庭で、ごみの減量にどのように取り組んでいますか。

ごみの減量への取り組みについては、「マイバッグの使用」が81.9%で最も高く、次いで「雑紙の資源化」が74.8%、「詰め替え商品の購入」が61.4%、「生ごみの水切り」が57.0%であった。



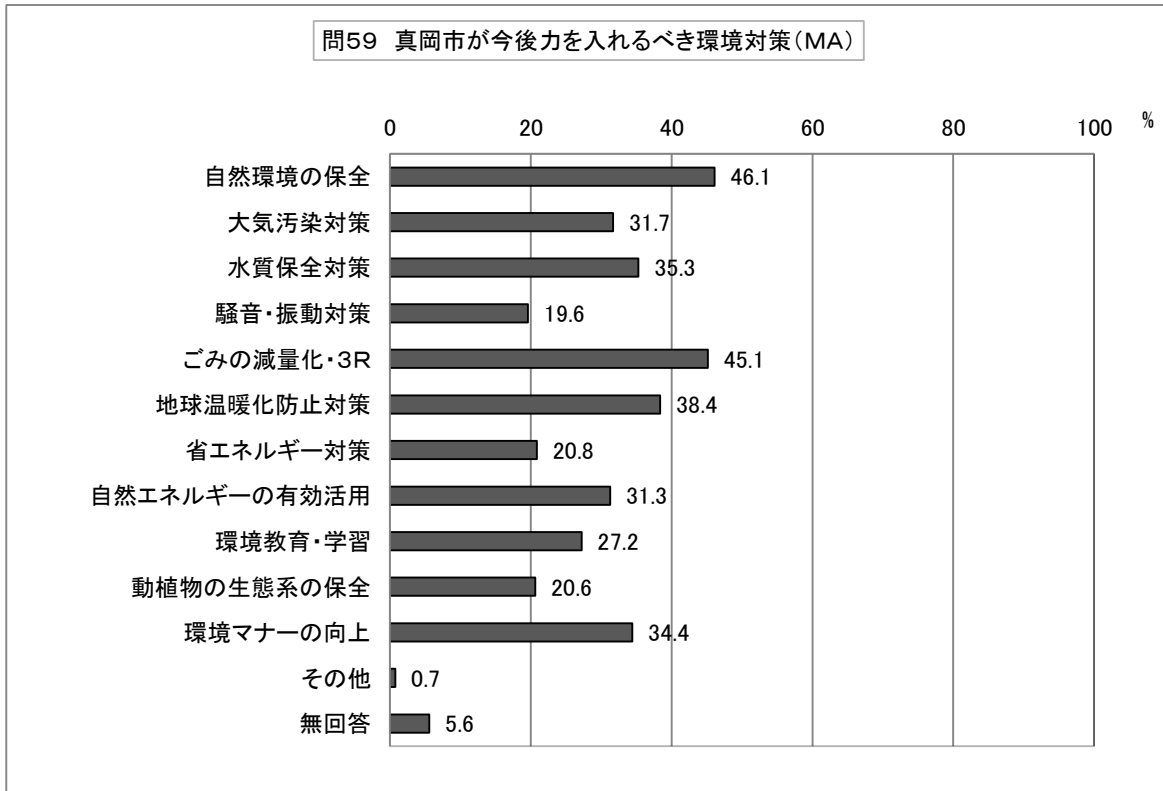






問59 真岡市が今後力を入れるべき環境対策について、次の中からあなたの考えに近いものをすべて選んでください。

真岡市が今後力を入れるべき環境対策については、「自然環境の保全」が46.1%で最も高く、次いで「ごみの減量化・3R」が45.1%、「地球温暖化防止対策」が38.4%、「水質保全対策」が35.3%、「環境マナーの向上」が34.4%であった。



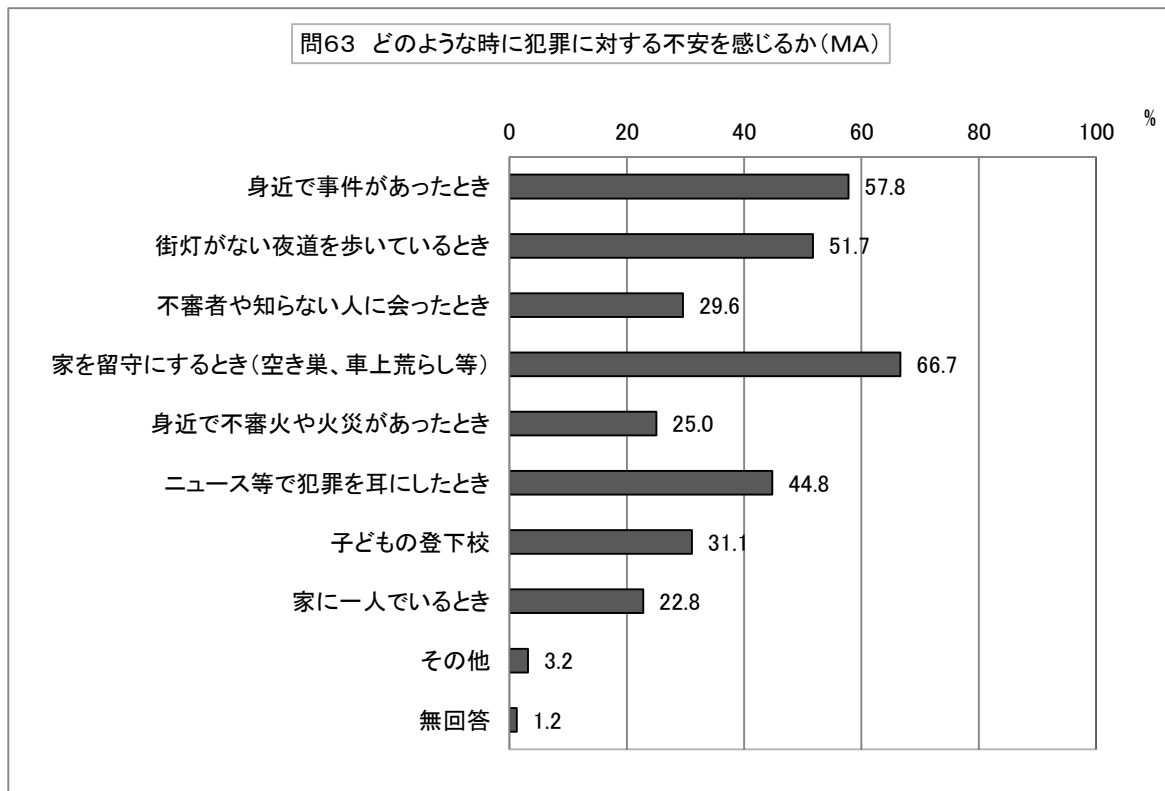




問63 問62で「3. どちらかと言えば感じる」または「4. 感じる」と答えた方にお聞きします。どのようなときに不安を感じますか。

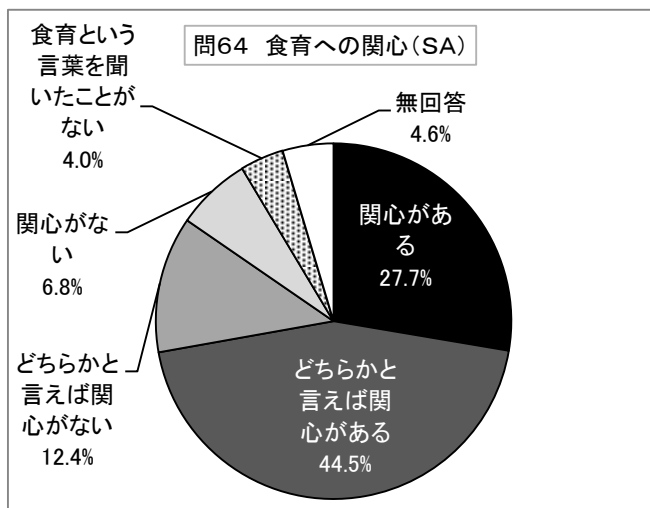
どのような時に犯罪に対する不安を感じるかについては、「家を留守にするとき」が66.7%と最も高く、次いで「身近で事件があったとき」57.8%、「街灯がない夜道を歩いているとき」51.7%であった。

年齢別で最も高い回答割合は、40歳代の「家を留守にするとき」71.7%、18歳から29歳の「身近で事件があったとき」62.1%、30歳代の「街灯がない夜道を歩いているとき」60.6%であった。



## 【農業の振興（食育の推進）について】

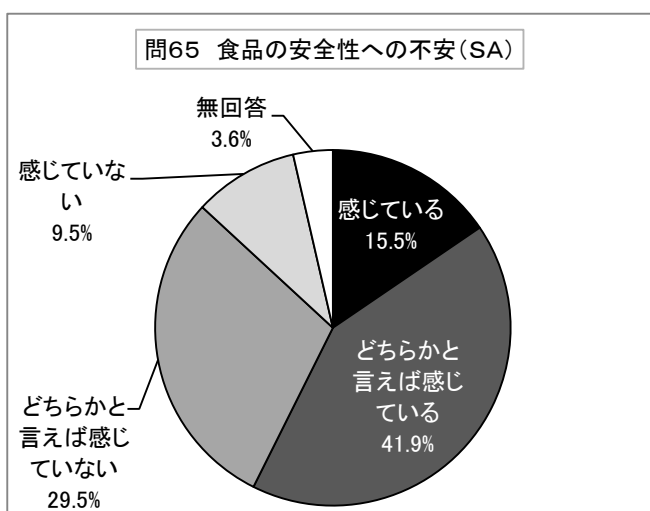
問64	あなたは、食育に関心がありますか。
問65	あなたは、食品の安全性に不安を感じていますか。
問66	あなたは、食事バランスガイドの内容を理解していますか。



食育への関心については、「関心がある」、「どちらかと言えば関心がある」を合わせると、72.2%であった。

性別では、男性 65.4%、女性 79.1%であり女性の方が関心度が高い。

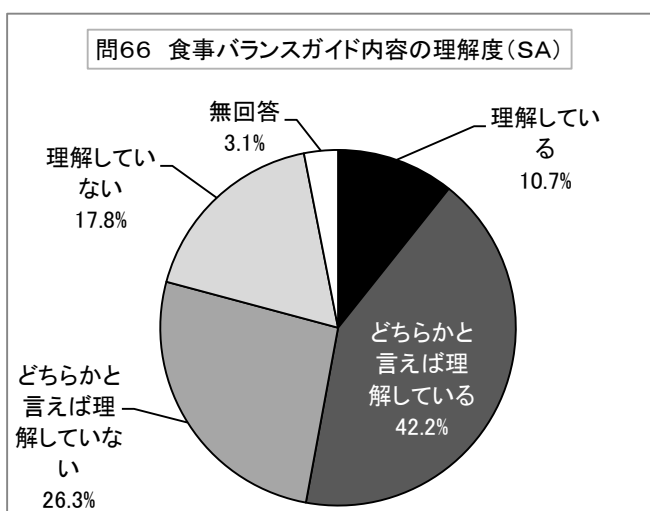
年齢別では、大きな変化は見られなかった。



食品の安全性については、不安を「感じている」、「どちらかと言えば感じている」を合わせると、57.4%であった。

年齢別では、60歳代の65.4%が最も高い割合であった。

また、60歳代をピークに、年代が上がるにつれて、不安の割合が高くなる傾向がある。



食事バランスガイドの内容については、「理解している」、「どちらかと言えば理解している」を合わせると52.9%であった。

年代別では、70歳以上の理解度が最も高く、61.4%であった。

また、年齢が上がるにつれて、理解度が高くなる傾向がある。

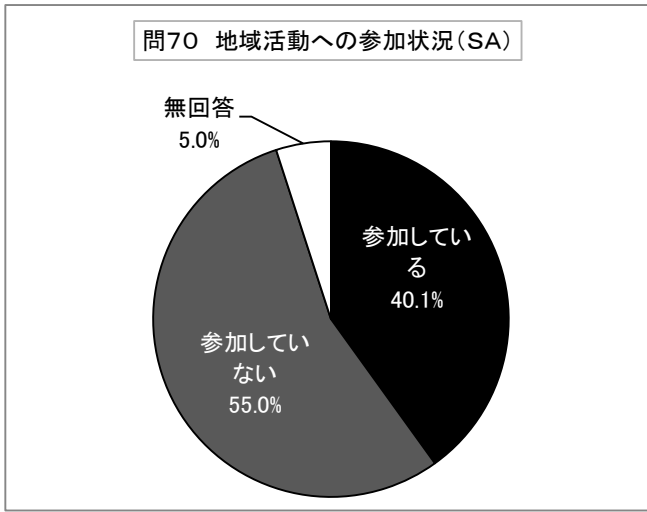




【市民協働のまちづくりについて】

問70 あなたは、現在、地域での活動※に参加していますか。

※地域での活動とは、自治会活動・地域公民館活動など。



地域活動への取り組みについては、「参加している」方が40.1%であった。

年齢別では、70歳代の方が46.6%で最も高く、次いで60歳代が46.4%、50歳代が42.9%であった。

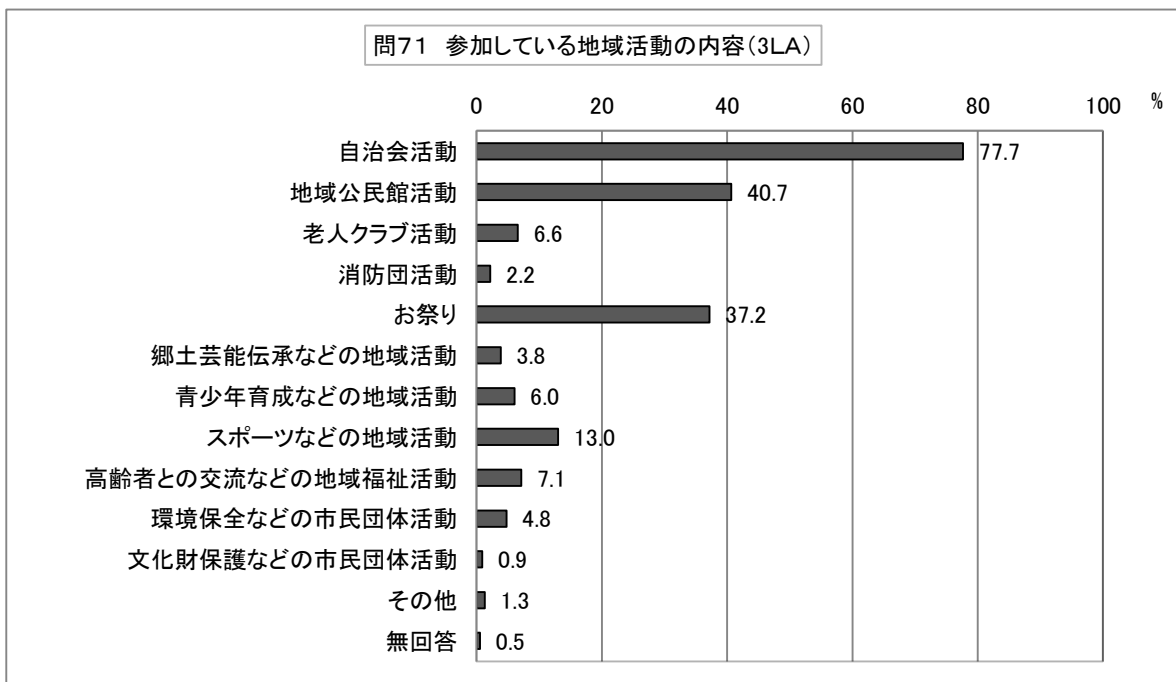
地区別では、山前地区が56.0%と最も高く、次いで大内地区が51.3%、二宮地区が51.2%、中村地区が37.6%、真岡地区が32.9%であった。

◆◆◆施策6-2 市民協働のまちづくり◆◆◆

〔成果指標〕 『まちづくり活動に参加している市民の割合』 (%)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
参加している	43.7	45.6	41.5	39.7	41.7	40.1
前年度比	0.6	1.9	-4.1	-1.8	2.0	-1.6

問71 問70で「1. 参加している」と答えた方にお聞きします。どのような地域での活動に参加していますか。





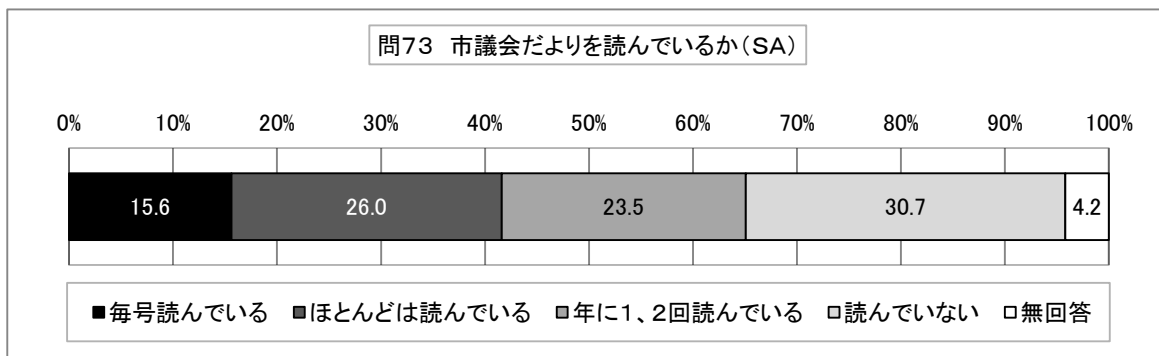


【議会について】

問73 あなたは、市議会だより（定例号4回、臨時号2回）を読んでいますか。

市議会だよりを「読んでいる」割合は、65.1%であった。

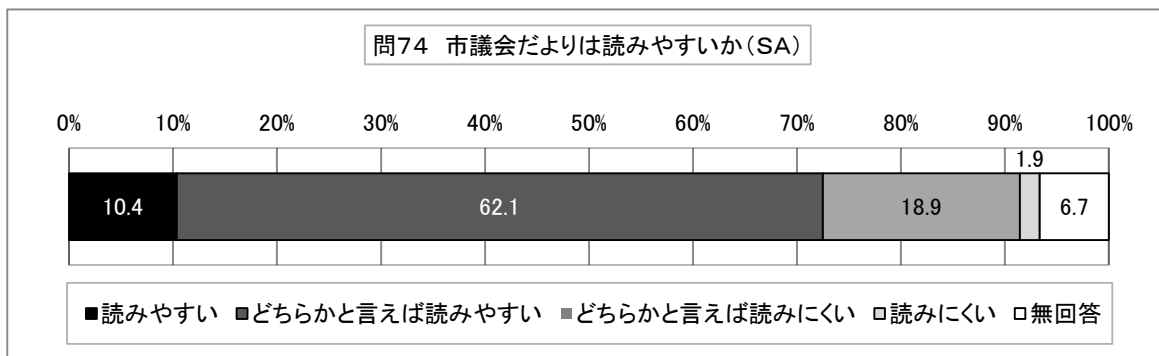
年齢別では、50歳以上で70%以上の方が読んでいるのに対し、18～29歳代では33.7%、30歳代49.2%、40歳代58.1%であった。年齢が下がるとともに読んでいる割合は減少傾向がある。



問74 市議会だよりを読んでいる方にお聞きします。市議会だよりは読みやすいですか。

市議会だよりの読みやすさについては、「読みやすい」、「どちらかと言えば読みやすい」を合わせると72.5%であった。

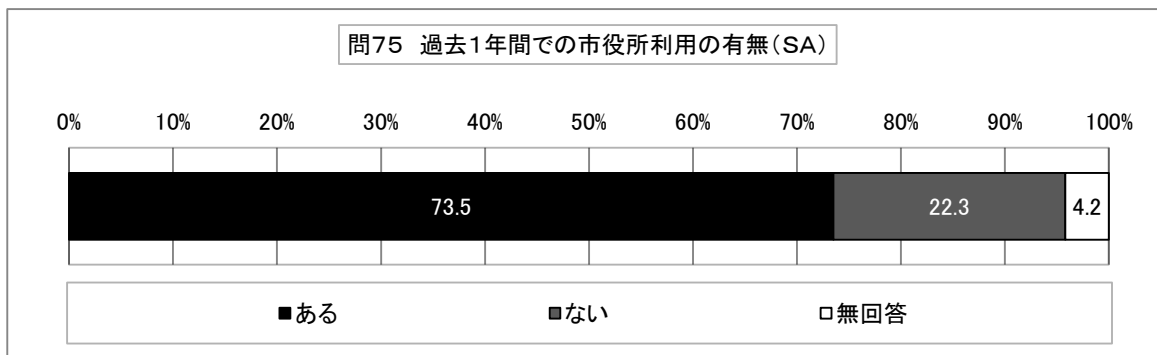
年代別では、30歳代が62.8%、その他の年代は70.0%以上であった。



【窓口サービスの向上と事務効率化について】

問75 あなたは、過去1年間で市役所を利用したことがありますか。

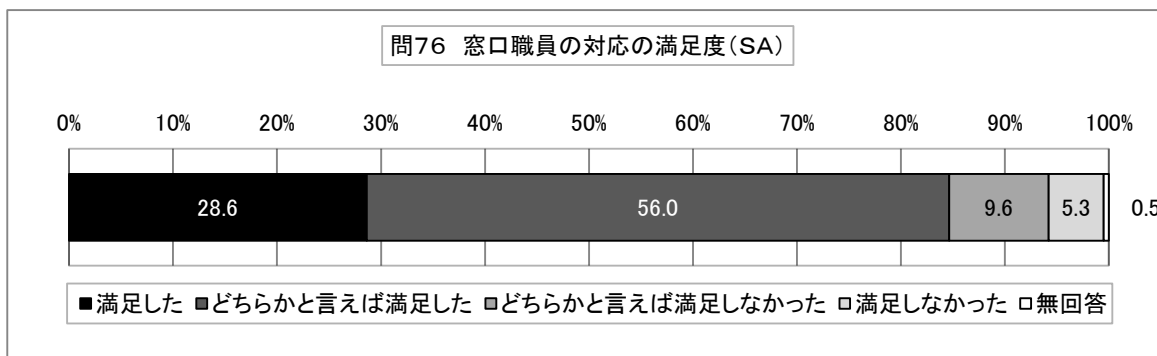
過去1年間の市役所利用については、「ある」73.5%、「ない」22.3%であった。



問76 問75で「1. ある」と答えた方にお聞きします。窓口の職員の対応や姿勢に満足しましたか。

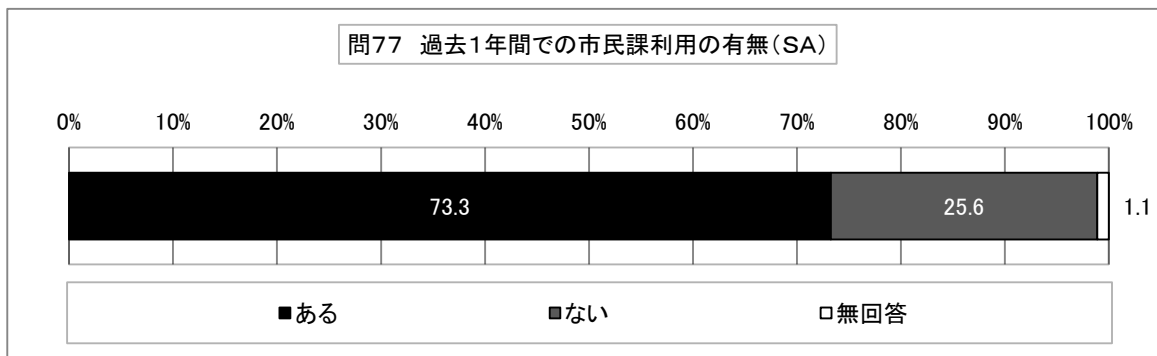
窓口の職員の対応等については、「満足した」、「どちらかと言えば満足した」を合わせると84.6%の方が満足している。

年齢別でも満足度は高く、各年代で76%以上の割合であった。



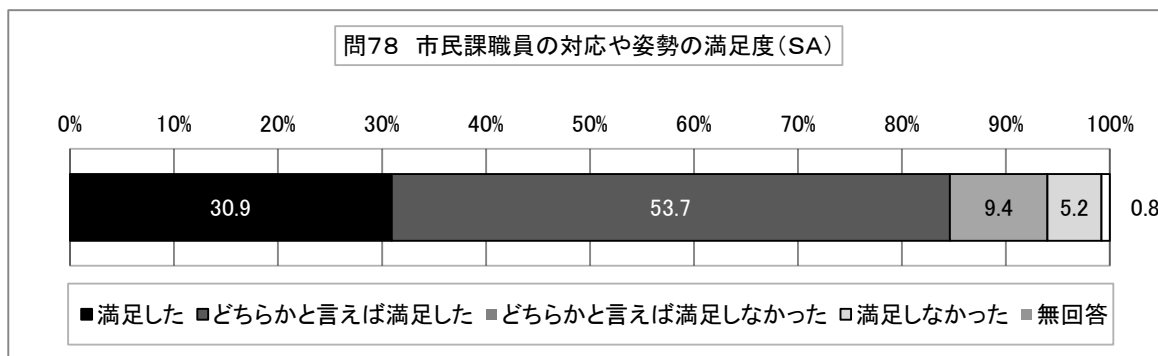
問77 あなたは、過去1年間で市役所の市民課を利用したことがありますか。

過去1年間で市の市民課利用については、「ある」73.3%、「ない」25.6%であった。



問78 問77で「1. ある」と答えた方にお聞きます。その時、職員の対応や姿勢に満足しましたか。

市民課窓口の職員の対応等については、「とても満足した」、「どちらかと言えば満足した」を合わせると 84.6%の方が満足している。



◆◆ 施策7-1 市民本位の窓口サービスの向上 ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇  
 [成果指標] 『窓口の対応に満足している市民の割合』 (%)

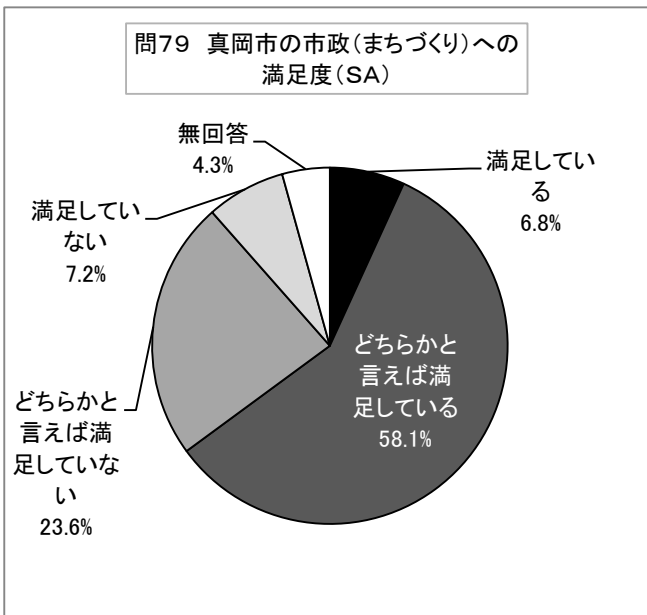
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
満足した	18.2	27.9	27.2	28.6	26.6	28.6
どちらかと言えば満足した	63.4	55.4	55.6	55.1	59.1	56.0
合計	81.6	83.3	82.8	83.7	85.7	84.6
前年度比	0.1	1.7	-0.5	0.9	2.0	-1.1

◆◆ 施策7-1 市民本位の窓口サービスの向上 ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇  
 [成果指標] 『市民課窓口の対応に満足している市民の割合』 (%)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
満足した	18.6	30.1	31.1	32.4	29.0	30.9
どちらかと言えば満足した	67.0	54.8	53.4	54.6	58.9	53.7
合計	85.6	84.9	84.5	87.0	87.9	84.6
前年度比	3.3	-0.7	-0.4	2.5	0.9	-3.3

【その他】

問79 あなたは、真岡市の市政（まちづくり）に満足していますか。



市政（まちづくり）に対しての満足度については、「満足している」、「どちらかと言えば満足している」を合わせると、64.9%の方が満足している。

年齢別では、70歳代が67.8%で最も高く、次いで40歳代が66.7%、18歳から29歳が66.4%であった。

地区別では、真岡地区の66.8%が最も高く、次いで中村地区の66.3%、山前地区の65.1%、二宮地区の62.2%、大内地区の60.1%の順であった。

---

令和2(2020)年度  
施策評価にかかる『成果指標』把握のための  
市民意向調査報告書  
令和2(2020)年6月

編集・発行 真岡市総務部総合政策課  
〒321-4395 栃木県真岡市荒町 5191  
TEL : 0285-83-8102  
FAX : 0285-83-5896  
E-mail : [sougouseisaku@city.moka.lg.jp](mailto:sougouseisaku@city.moka.lg.jp)  
<https://www.city.moka.lg.jp>

---